MS344－42003
GRサイドスカート

取付・取扱要領書

この度はGRサイドスカートをお買い上げ頂き誠にありがとうございます。
本書は本商品の取り付け、 取り扱いについての要領と注意事項を記載してあります。
取り付け前に必ずお読み頂き、 正しい取り付け、 取り扱いを実施してください。

★ 本商品は登録後架装を前提としています。

■ 品番・適合車種

品　番	塗装色	適合車種	備　考
MS344-42003	ブラック(202)	RAV4	

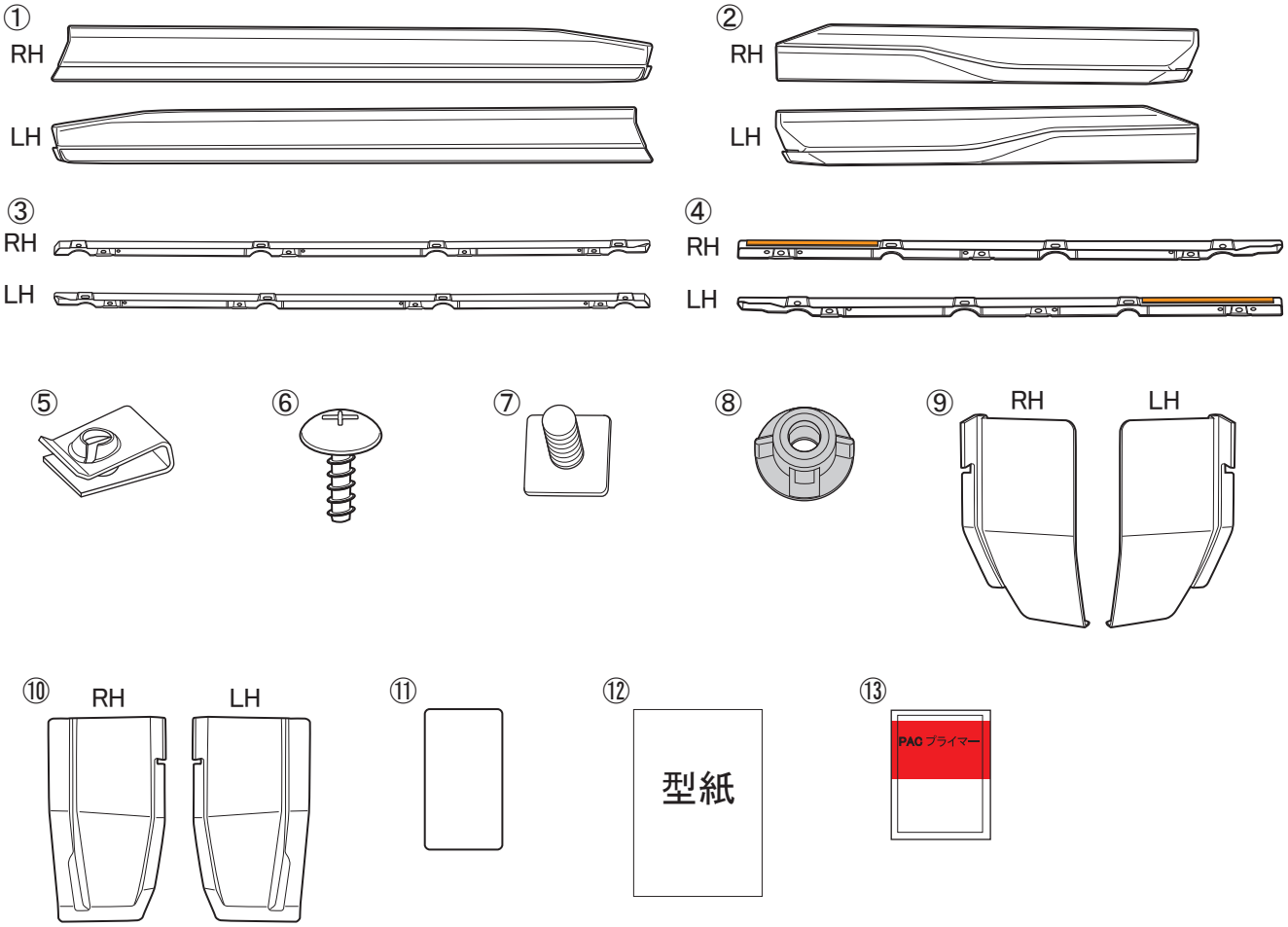
・最新の適合情報は TRD 公式サイトをご覧ください。 https://www.trdparts.jp/

■ 構成部品

No.	部品名	品　番	数 量	備　考
①	FRドアアウターピース （RH/LH）	MS344-42H03/04	各 1	PP
②	RRドアアウターピース （RH/LH）	MS344-42H03/04	各 1	PP
③	FRドアロアリテーナー （RH/LH）	MS344-42H03/04	各 1	PP
④	RRドアロアリテーナー （RH/LH）	MS344-42H03/04	各 1	PP
⑤	J ナット	————	28	
⑥	タッピングスクリュー	————	28	D5×14
⑦	スタッドボルト	————	14	M6
⑧	クリップナット	————	14	M6用
⑨	FR 用位置出し治具 （RH/LH）	————	各1	
⑩	RR 用位置出し治具 （RH/LH）	————	各1	
⑪	シム	————	1	t=1.0
⑫	型紙 A,B,C,D,D,E,F （RH/LH）	————	1	
⑬	PAC プライマー	08867-00250	1	N210NT

※確認・本商品が到着後、 すぐに破損がないこと、 付属品が全てそろっていることを確認してください。
※①②③④の品番にはリペアパーツセット (MS380-42H12) を含みます。

■ 構成部品図



■ リペアパーツセット（補給）

品 番	備 考
MS380-42H12	⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬、 モール及び両面テープのセット同梱

※本品は補給専用のため、 MS344-42003 には付属しておりません。

■ 取り付け上のご注意（取り付け作業者の方へ）

作業を行う前に必ずお読みになり、安全で確実な取り付け作業を行ってください。

⚠ 警告	この内容に従わず、誤った取り付け・取り扱いを行うと生命の危険または、重大な傷害等を負う可能性がある内容について記載しています。
⚠ 注意	注意事項を守らないで、誤った取り付け・取り扱いを行うと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等のおそれがある事を記載しています。
アドバイス	スピーディに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。

⃠ **やってはいけないこと**　　❗ **必ず行なっていただくこと**

⚠ 警告

⃠ 本商品への改造・加工、及び適合車種以外への装着は、重大な事故や故障を招くおそれがありますので絶対に行わないでください。

❗ 本商品の取り付け・交換は、該当車両の修理書(トヨタ自動車㈱発行)に従い、本書の注意事項を守り作業を行ってください。

❗ 取り付け作業は規定トルクを守り、確実に締め付けてください。
締め付けが足らないと脱落などにより重大な事故や故障を招くおそれがあります。

⚠ 注意

❗ 本商品を取り付け前に、本体・構成部品がすべて揃っていること、損傷や不具合が無いことを確認してください。取り付け後に発覚した損傷や不具合のクレームには、対応できない場合があります。

❗ 本商品の取り付けはキズ付き防止のため保護シートの上で取り扱いを行い、同時に取り付け部位を保護材にて養生した上で作業を行ってください。

❗ エンジンルーム内、ラジエーターキャップ付近に配線を通したり部品を取り付けがある場合は、腕当てや上着がラジエーターキャップに接触し、キャップが緩む場合があります。
ラジエーターキャップが緩むと冷却水が飛び出し思わぬケガや、そのまま走行した場合オーバーヒートに繋がるおそれがあります。
ラジエーターに限らず、用品取り付け作業後には作業部位周辺に異常がないかご注意ください。

❗ タイヤとタイヤハウスとの隙間が少なくなる場合があります。
洗車やタイヤ交換の際、手指を挟んだりぶつけないようご注意ください。

❗ 特に指示のない限り、取り外した車両部品は再使用しますので紛失しないよう整理してください。

脱脂作業について（別添の脱脂作業要領も参考にしてください。）

❗ 脱脂作業は清潔なウエスを使用して、イソプロピルアルコール(IPA)で行ってください。
上記以外の溶剤は絶対に使用しないでください。

❗ 脱脂作業にボディーコーティング等の下地処理剤や、パーツクリーナー、ブレーキクリーナーなどの溶剤は絶対に使用しないでください。正しく脱脂が出来ず浮き、剥がれの原因となります。

両面テープについて

- 脱脂作業を怠ると両面テープが剥がれるおそれがあります。
- 両面テープは一度貼り付けてから剥がしますと、接着力は低下しますので再貼り付けはできません。
- 外気温が15℃未満の場合は両面テープの接着力が著しく低下します。
  部品または貼り付け面を人肌程度まで加温してください。
- 両面テープの圧着はテープの直上を49N（5kgf）以上(車両が軽く揺れる程度)で確実に押してください。
  圧着が足らないと両面テープが剥がれるおそれがあります。
- 接着力を促進するため、取り付け後20分以内は洗車しないでください。

取り付けが終わったら

- 商品及び車両にキズが付いていないことを確認してください。
- 商品全周に渡り、浮き・剥がれ等、無いことを確認してください。
- 商品と車両との干渉が無いことを確認してください。
- 作業でバッテリーのマイナス端子を外した場合は、作業終了後にシステム設定・確認を行ってください。
- 本取り付けに伴い分解・脱着した部位により、再設定・調整が必要となる場合があります。
  該当車両の修理書(トヨタ自動車㈱発行)に従い、各部の点検・調整・設定を行ってください。

■ 目次

品番・適合車種、構成部品、構成部品図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１～２
取り付け上のご注意（取り付け作業者の方へ）・・・・・・・・・・・・・・・・・・３～４
目次、取り付けに必要な工具・保護具・消耗品、
保証について、取り付け構成図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５
取り付け準備、取り付け要領・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・６～２５
取り付け完了後の点検・注意事項・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２５
補修キット両面テープ貼り付け・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２６

■ 取り付けに必要な工具・保護具・消耗品

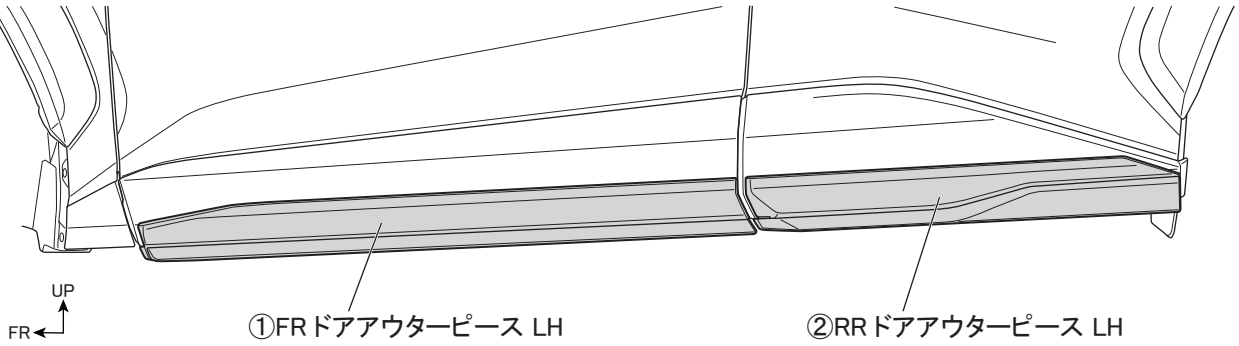
・一般工具
・ドリル（刃：３．０mm/５．５mm/１０．０mm）・ケガキ棒
・軍手・保護シート・保護テープ・養生テープ・マスキングテープ
・イソプロピルアルコール（ＩＰＡ）・清潔なウエス

■ 保証について

本商品は、１年・20,000kmの保証を実施致します。
（1年、または20,000km走行時点のいずれか早い方まで）
※保証の詳細は TRD 公式サイト＜https://www.trdparts.jp/＞
「保証について」をご覧ください。

■ 取り付け構成図

※LH図示　左右共通



■ 取り付け準備、 取り付け要領

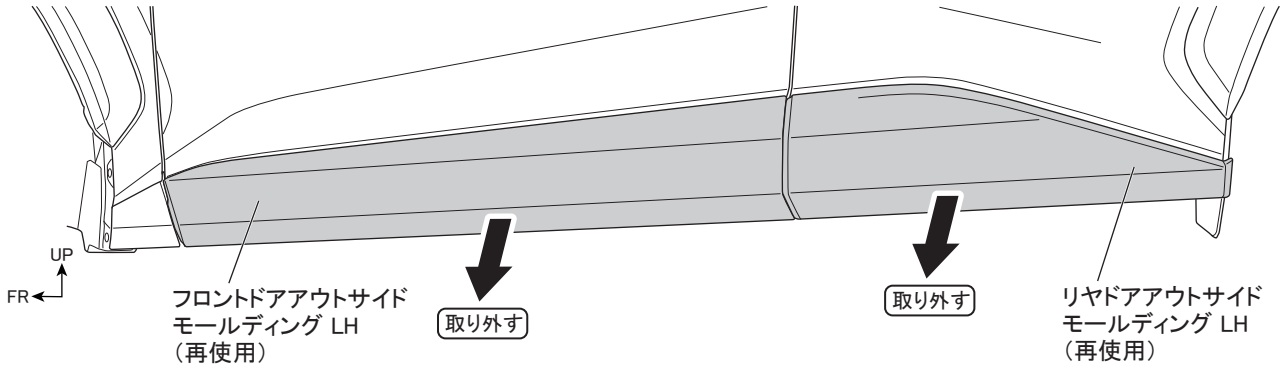
※本取付・取扱要領書は、 主にLH側を示しており、RH側も同様に行ってください。

□サイドスカート取り付け準備

❗ 車両部品の取り付け・取り外しは、該当車両の修理書（トヨタ自動車（株）発行）に従い作業を行ってください。

1. 図1のように該当車両の修理書に従い、 車両からフロントドアアウトサイドモールディング、 リヤドアアウトサイドモールディングを取り外す。

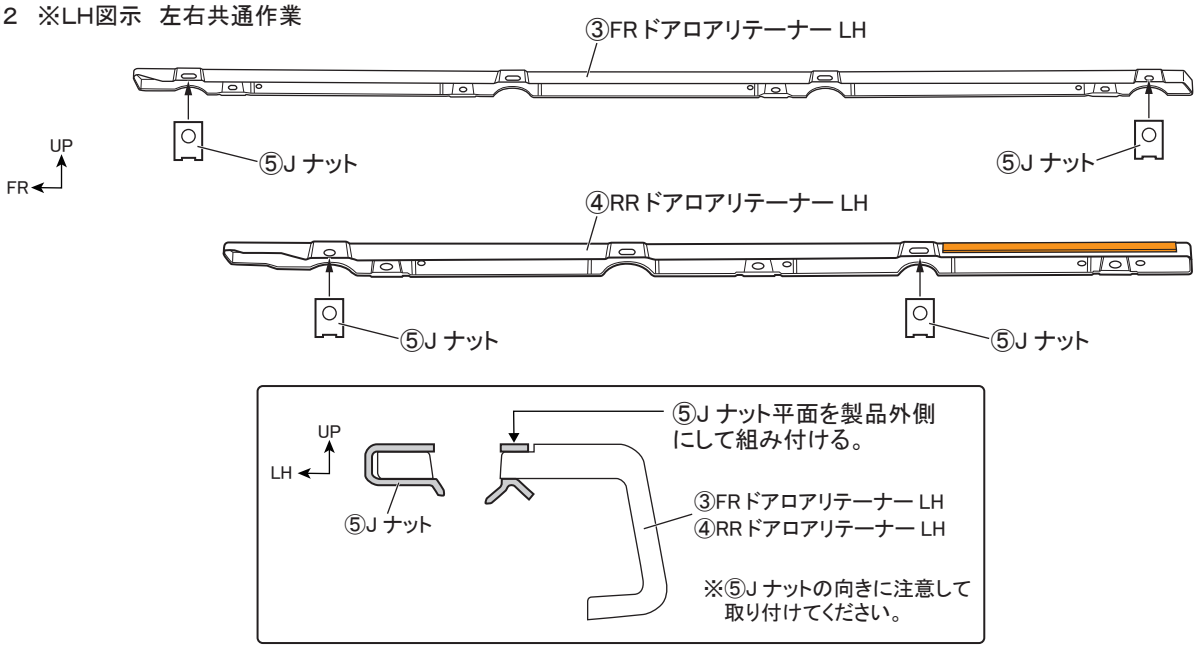
図1　※LH図示　左右共通作業



⚠注意：取り外した車両フロント / リヤドアアウトサイドモールディング及び車両クリップ、 ナット、 スタッドボルトは再使用しますので、 無くさないように必ず保管してください。

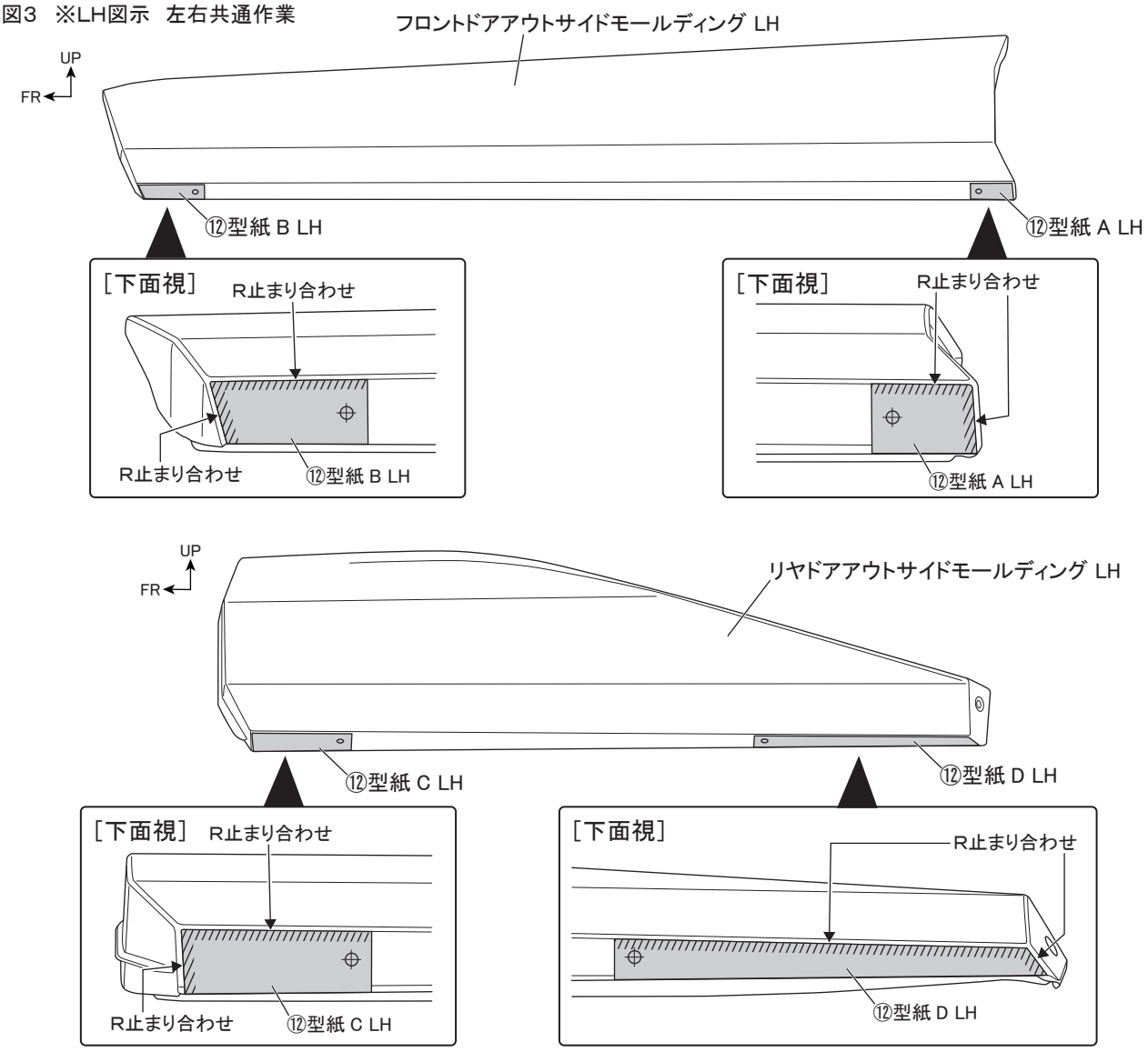
2. 図2のように③FRドアロアリテーナー、④RRドアロアリテーナーに⑤Jナットを組み付ける。
（FR：左右各2箇所、 RR：左右各2箇所）

図2　※LH図示　左右共通作業



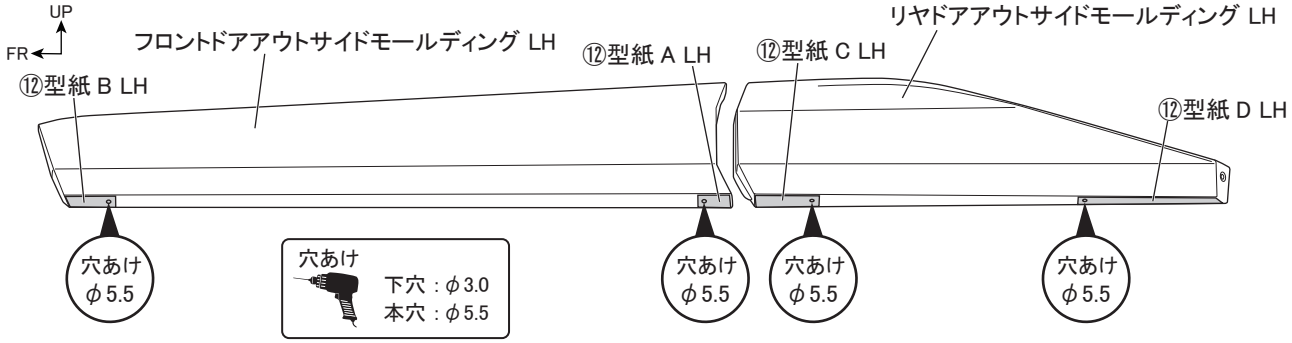
3. 図3のようにフロントドアアウトサイドモールディング、リヤドアアウトサイドモールディングに⑫型紙 A、B、C、D を貼り付ける。（FR：左右各2箇所、RR：左右各2箇所）

図3 ※LH図示 左右共通作業



4. 図4のように⑫型紙 A、B、C、D の穴あけ位置に合わせて下穴をφ3.0 であけ、φ5.5 の本穴をあける。（FR：左右各2箇所、RR：左右各2箇所）

図4 ※LH図示 左右共通作業



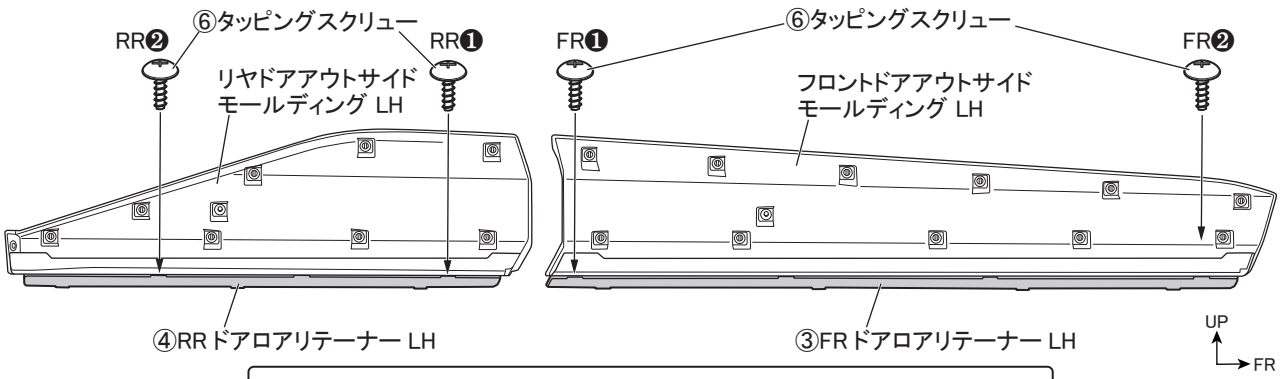
⚠注意：作業時は保護メガネを着用してください。

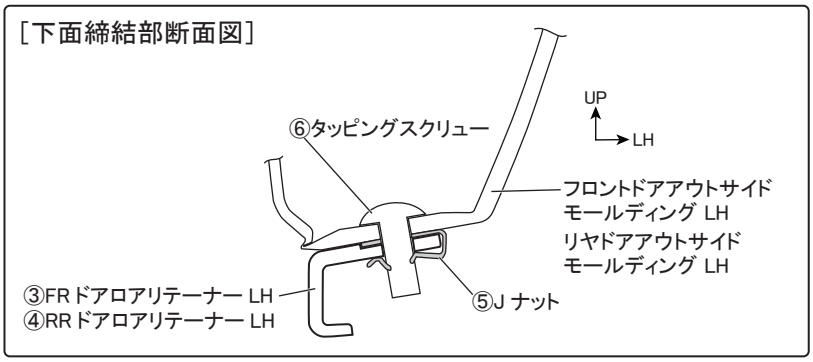
アドバイス：穴あけ加工時、ドリルは穴あけ面に対して垂直にし、位置がズレないように注意してください。

5. ⑫型紙 A、B、C、D を剥がし、加工穴周囲のバリを除去する。（FR：左右各2箇所、RR：左右各2箇所）

6. 図5のようにフロントドアアウトサイドモールディング、リヤドアアウトサイドモールディングに③FRドアロアリテーナー、④RRドアロアリテーナーを FR❶→FR❷、RR❶→RR❷の順に⑥タッピングスクリューで本締めして仮固定する。（FR：左右各2箇所、RR：左右各2箇所）

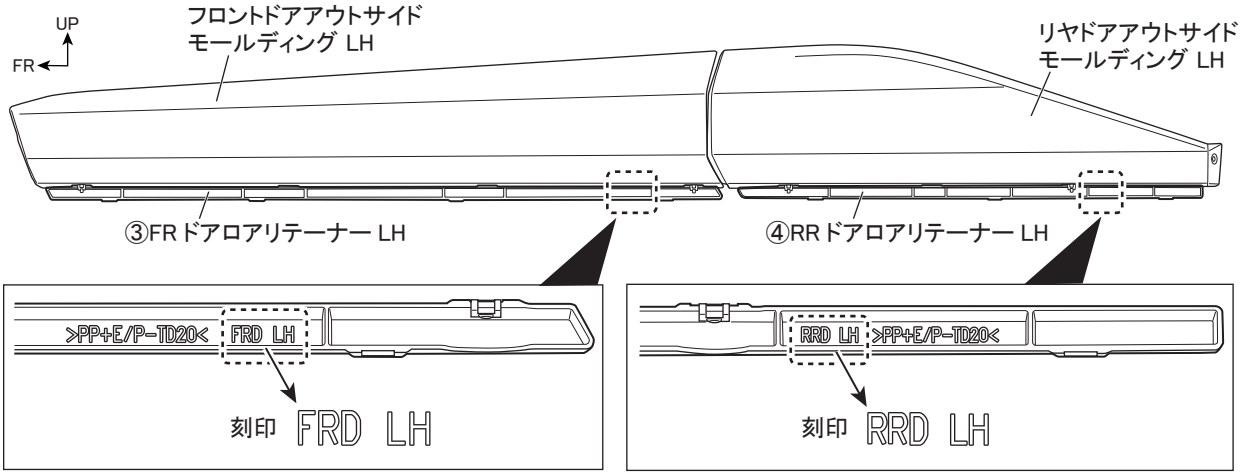
図5 裏面視 ※LH図示 左右共通作業





◆ 重 要 ◆

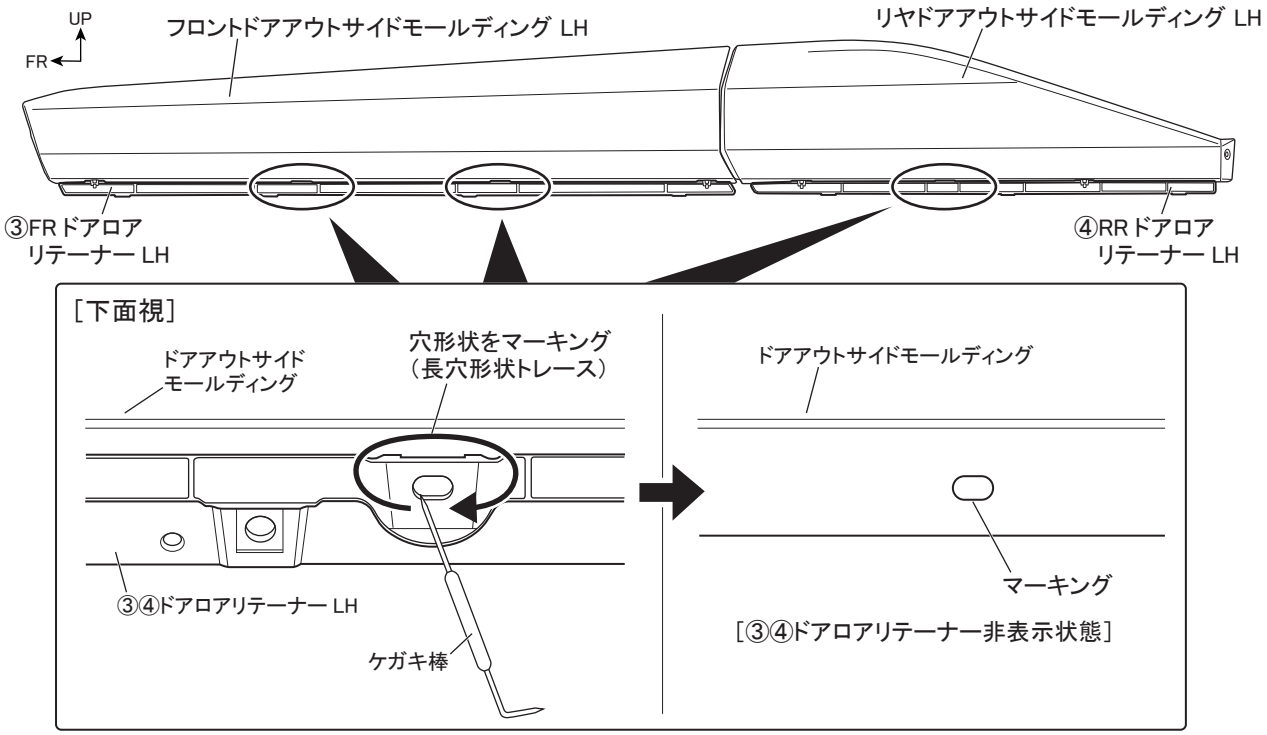
③FRドアロアリテーナー、④RRドアロアリテーナーの FR、RR 及び LH、RH の刻印を確認して取り付ける。



⚠注意：③FRドアロアリテーナー、④RRドアロアリテーナーの刻印を確認してください。
③FRドアロアリテーナー、④RRドアロアリテーナーの上下向き、左右向きを間違えて取り付けてしまうと製品本体の取り付けが出来なくなるため、必ず確認してから取り付けてください。

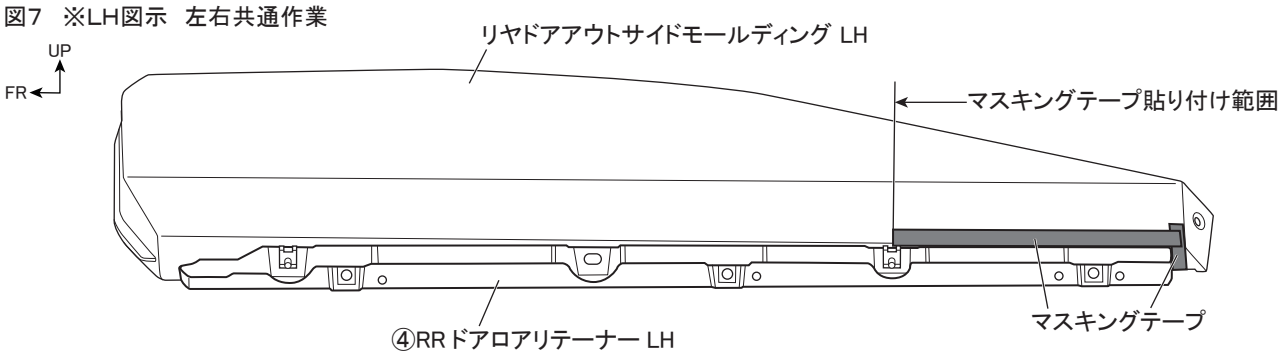
7. 図6のように③FRドアロアリテーナー、④RRドアロアリテーナーの穴形状に合わせてフロントドアアウトサイドモールディング、リヤドアアウトサイドモールディングにケガキ棒でマーキングする。
（FR：左右各2箇所、RR：左右各1箇所）

図6 ※LH図示 左右共通作業



8. 図7のように④RRドアロアリテーナーの形状に合わせてリヤドアアウトサイドモールディングにマスキングテープを貼り付ける。（左右各1箇所）

図7 ※LH図示 左右共通作業

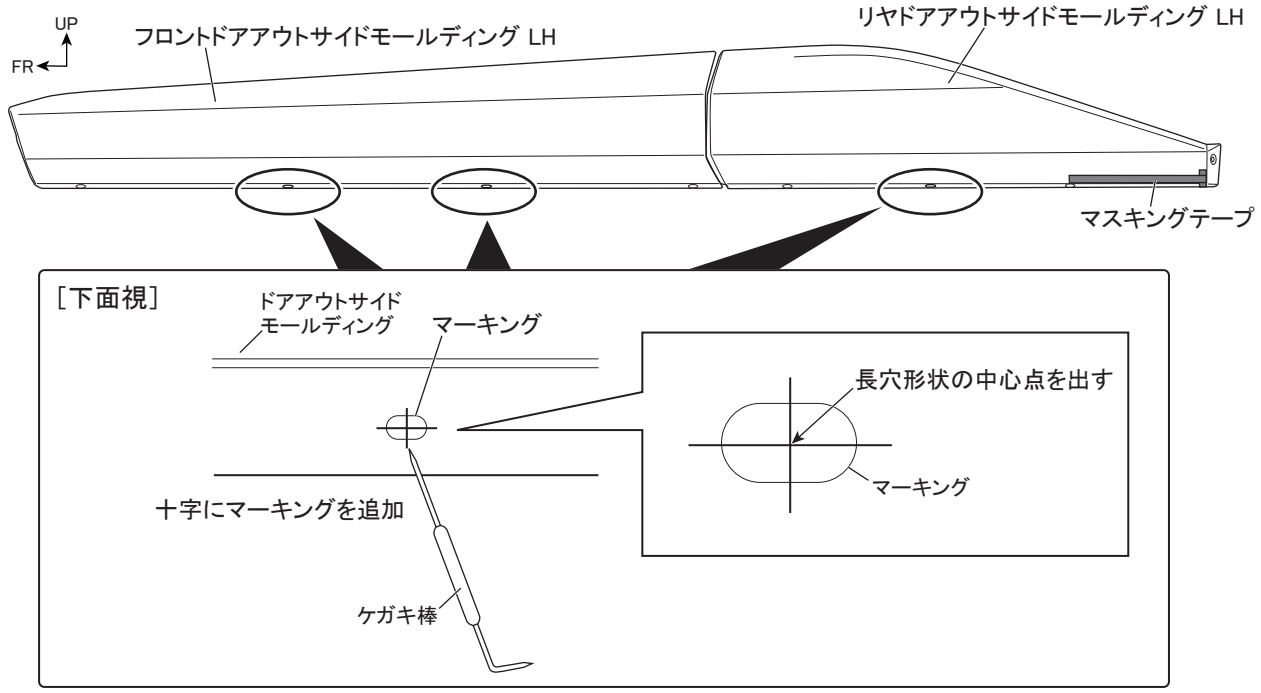


⚠注意：PACプライマー塗布範囲のマスキング作業のため正確な位置出し、マスキングを行ってください。

9. フロントドアアウトサイドモールディング、リヤドアアウトサイドモールディングから③FRドアロアリテーナー、④RRドアロアリテーナーを取り外す。

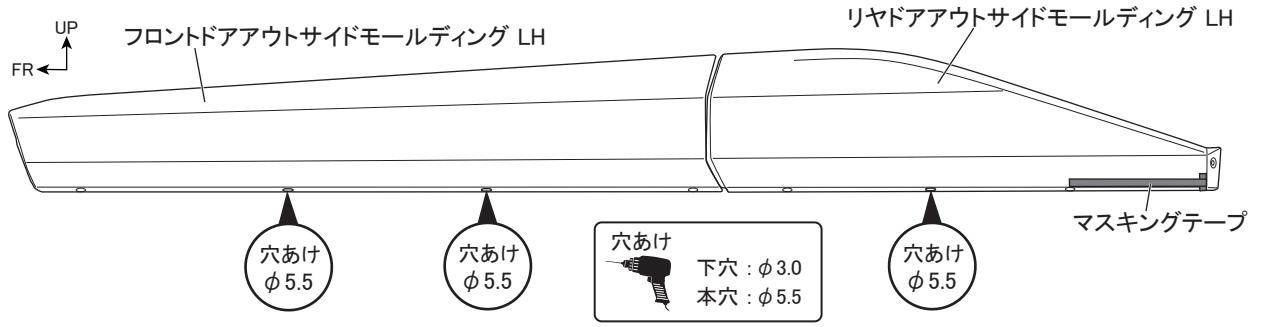
10. 図8のようにフロントドアアウトサイドモールディング、リヤドアアウトサイドモールディング下面マーキングの穴あけ位置にケガキ棒で十字マーキングを追加して長穴形状の中心点を出す。
（FR：左右各2箇所、RR：左右各1箇所）

図8　※LH図示　左右共通作業



11. 図9のようにフロントドアアウトサイドモールディング、リヤドアアウトサイドモールディング下面マーキングの穴あけ位置（十字マーキング交点）に合わせて下穴をφ3.0であけ、φ5.5の本穴をあける。
（FR：左右各2箇所、RR：左右各1箇所）

図9　※LH図示　左右共通作業



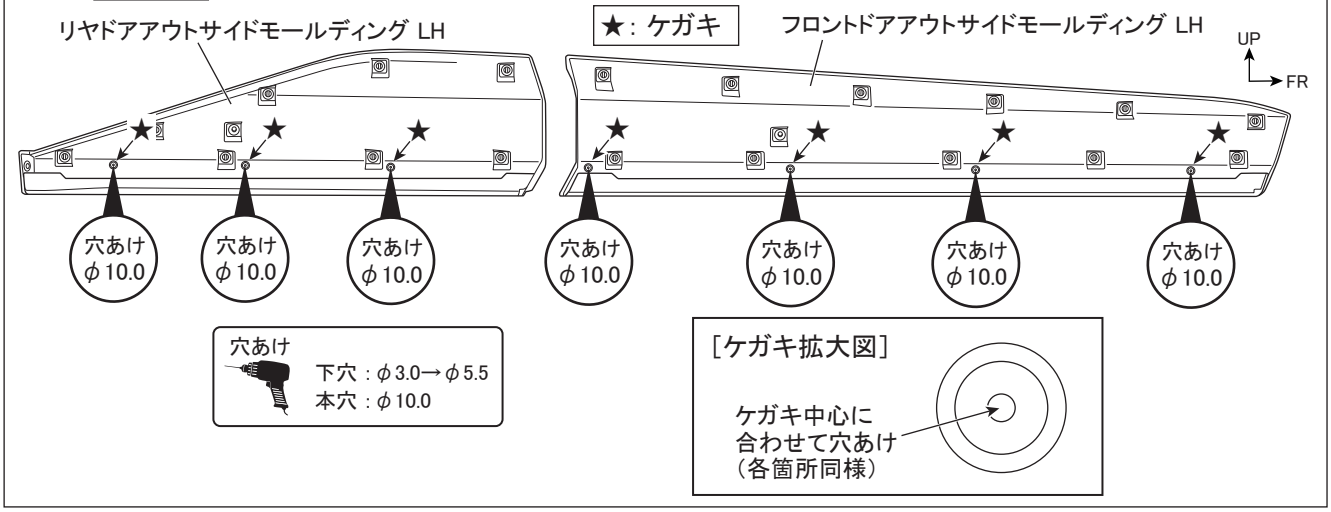
⚠注意：作業時は保護メガネを着用してください。

アドバイス：穴あけ加工時、ドリルは穴あけ面に対して垂直にし、位置がズレないように注意してください。

12. 加工穴周囲のバリを除去する。（FR：左右各2箇所、RR：左右各1箇所）

13. 図 10 のようにフロントドアアウトサイドモールディング、リヤドアアウトサイドモールディング裏面の穴あけ位置（ケガキ：図中★箇所）に合わせて下穴をφ3.0→φ5.5 の順であけ、φ10.0 の本穴をあける。（FR：左右各4箇所、 RR：左右各3箇所）

図 10 裏面視 ※LH図示 左右共通作業



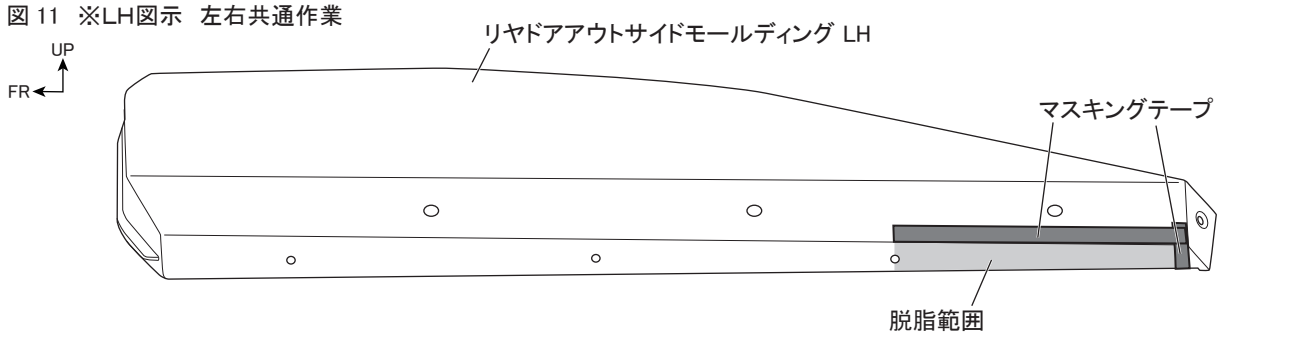
⚠注意：作業時は保護メガネを着用してください。

アドバイス：穴あけ加工時、ドリルは穴あけ面に対して垂直にし、 位置がズレないように注意してください。

14. 加工穴周囲のバリを除去する。（FR：左右各4箇所、 RR：左右各3箇所）

15. 図 11 のようにリヤドアアウトサイドモールディング後部下面の両面テープ貼り付け部の汚れを取り除き、 イソプロピルアルコール（IPA）で一方向に拭いて脱脂する。（左右各1箇所）

図 11 ※LH図示 左右共通作業



⚠注意：脱脂を行う際、 上記以外の溶剤は使用しないでください。 油脂分が残り、 テープが剥がれる原因になります。

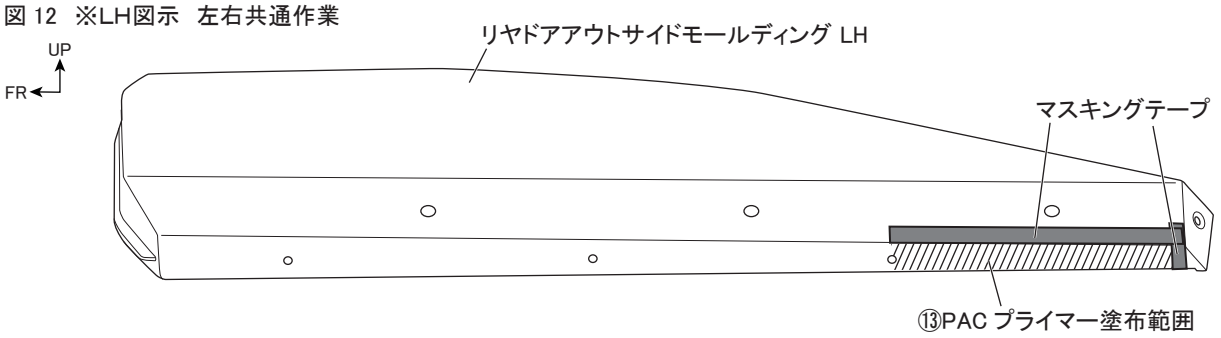
アドバイス：脱脂作業を行う際は、 換気に注意して、 火気を近づけないよう注意してください。

⚠注意：脱脂後は、 十分に乾燥させてください。

アドバイス：ボディコート処理されている車両は塗布範囲内をマスキングし、 両面テープ接着部を塗装用コンパウンドなどで確実に除去し脱脂を行ってください。

16. 図 12 のようにリヤドアアウトサイドモールディング後部下面の両面テープ貼り付け部に⑬PAC プライマーを塗布する。（左右各1箇所）

図 12 ※LH図示 左右共通作業

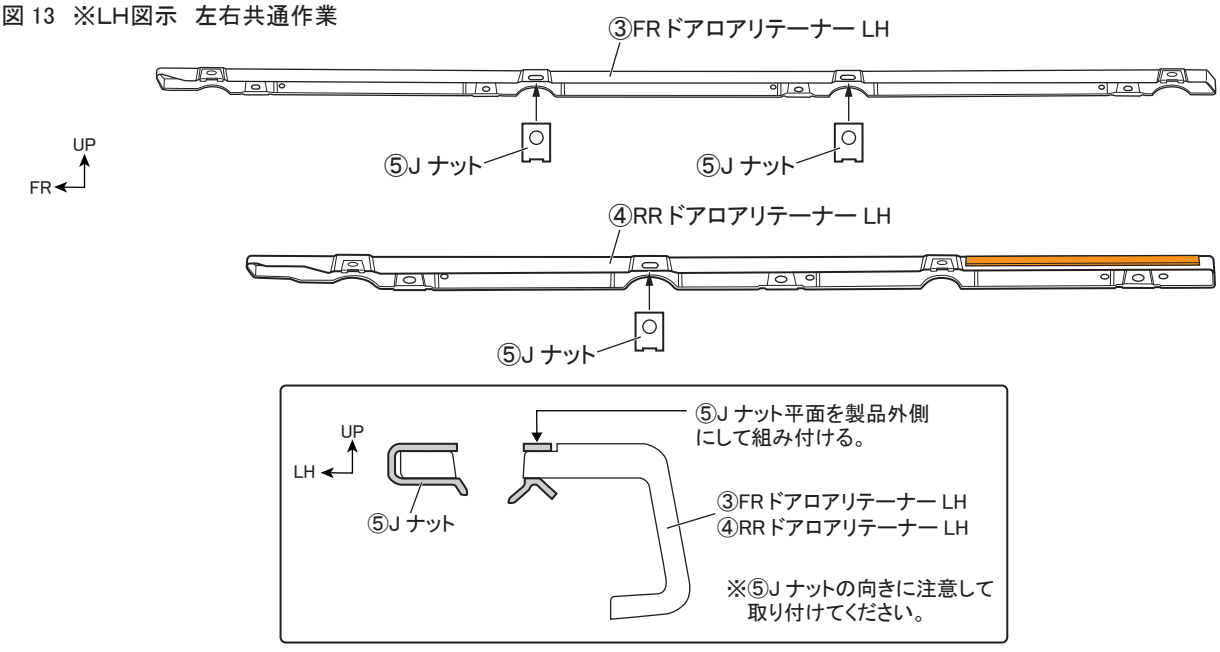


⚠注意
- プライマー開封前に必ず使用要領を読んでください。
- プライマーは塗装面を黄変させるため、 マスキングするか、 はみ出したプライマーはイソプロピルアルコール（IPA）で拭き取ってください。
- イソプロピルアルコール（IPA）を使用する際は火気に充分注意してください。
- プライマー塗布後 24 時間以内で乾燥時間をとってください。
- 塗布後 24 時間以上のプライマー乾燥を行なった場合は、 プライマーを塗りなおしてください。

⚠注意 : ⑬PAC プライマーはのちの工程で再使用します。 揮発性が高いので速やかに袋に戻し揮発を抑えてください。

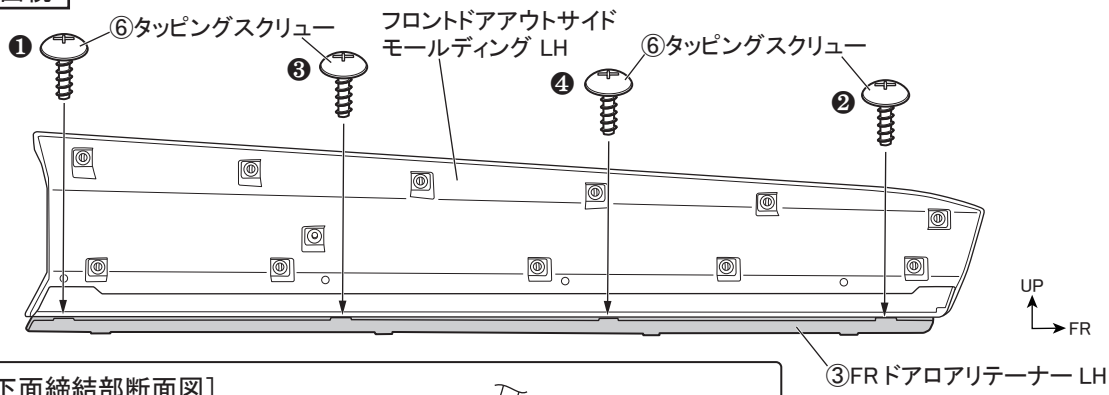
17. 図 13 のように③FR ドアロアリテーナー、④RR ドアロアリテーナーに⑤J ナットを組み付ける。（FR : 左右各2箇所、 RR : 左右各1箇所）

図 13 ※LH図示 左右共通作業

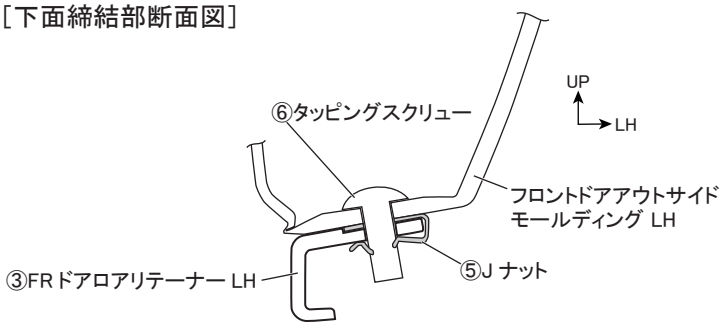


18. 図 14 のようにフロントドアアウトサイドモールディングに③FR ドアロアリテーナーを❶→❷→❸→❹の順に⑥タッピングスクリューで仮締めし、 取り付け位置を確認して本締めする。（左右各4箇所）

図 14 裏面視 ※LH図示 左右共通作業

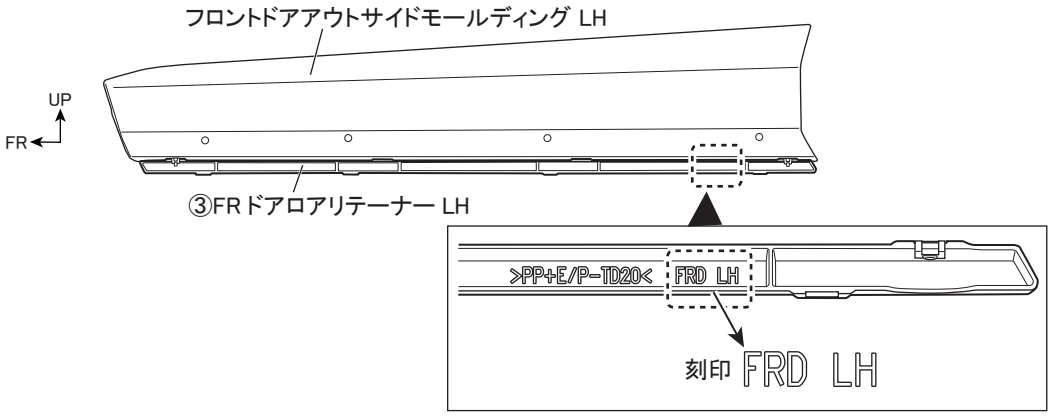


［下面締結部断面図］



◆ 重 要 ◆

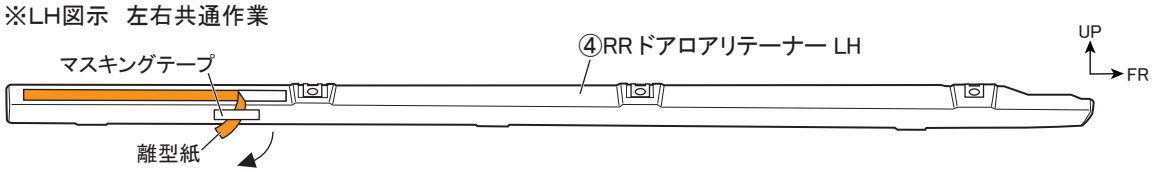
③FR ドアロアリテーナーの FR 及び LH、 RH の刻印を確認して取り付ける。



⚠注意 : ③FR ドアロアリテーナーの刻印を確認してください。
③FR ドアロアリテーナーの上下向き、 左右向きを間違えて取り付けてしまうと製品本体の取り付けが出来なくなるため、 必ず確認してから取り付けてください。

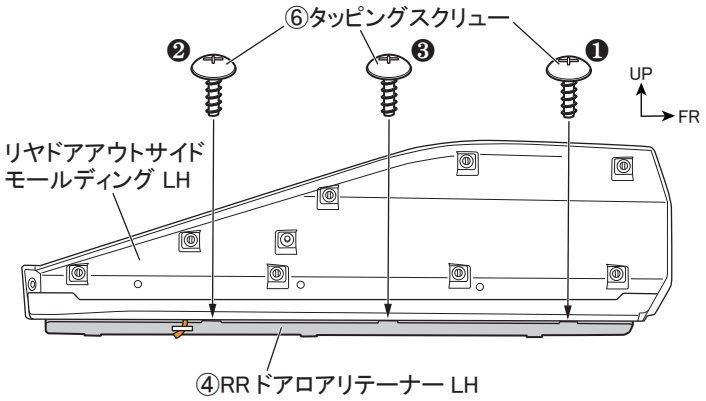
19. 図 15 のように④RR ドアロアリテーナーの両面テープの離型紙を矢印の方向に約 30mm 剥がしてマスキングテープ等で側面に貼り付ける（左右各1箇所）

図 15　※LH図示　左右共通作業

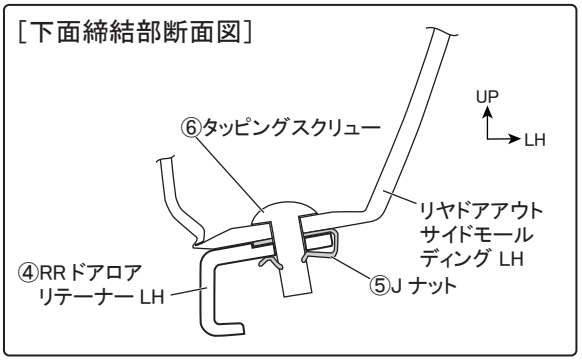


20. 図 16 のようにリヤドアアウトサイドモールディングに④RR ドアロアリテーナーを❶→❷→❸の順に⑥タッピングスクリューで仮締めする。（左右各3箇所）

図 16　裏面視　※LH図示　左右共通作業

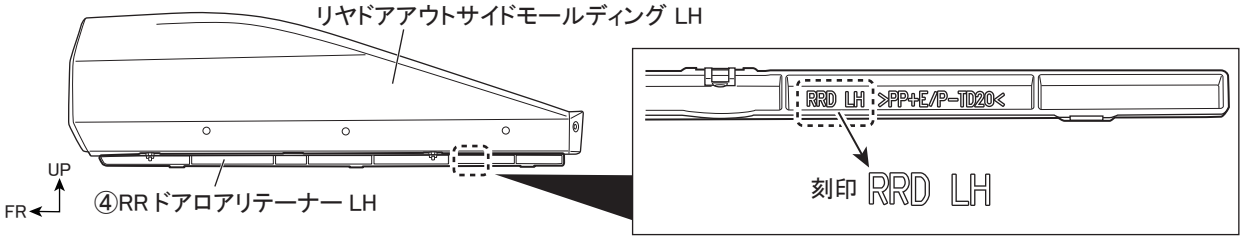


［下面締結部断面図］



◆ 重　要 ◆

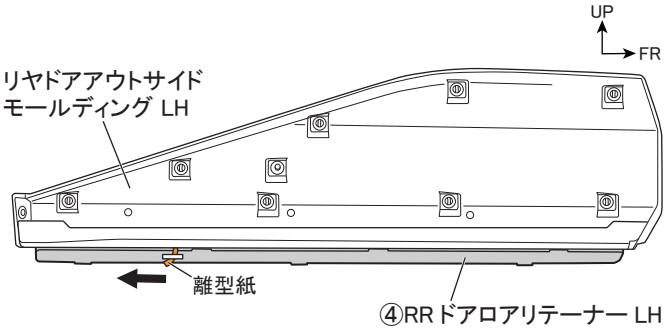
④RR ドアロアリテーナーの RR 及び LH、 RH の刻印を確認して取り付ける。



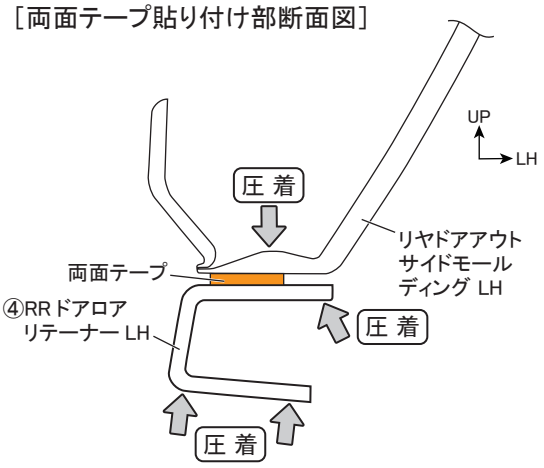
⚠注意 : ④RR ドアロアリテーナーの刻印を確認してください。
④RR ドアロアリテーナーの上下向き、 左右向きを間違えて取り付けてしまうと製品本体の取り付けが出来なくなるため、 必ず確認してから取り付けてください。

21. 図 17 のように④RR ドアロアリテーナーの取り付け位置を確認して両面テープの離型紙を矢印の方向へ剥がしながら圧着する。（左右各1箇所）

図 17 裏面視 ※LH図示 左右共通作業



［両面テープ貼り付け部断面図］



⚠注意 : 外気温が 15℃未満の場合は両面テープの接着力が著しく低下します。
部品または貼り付け面を人肌程度まで加温してください。

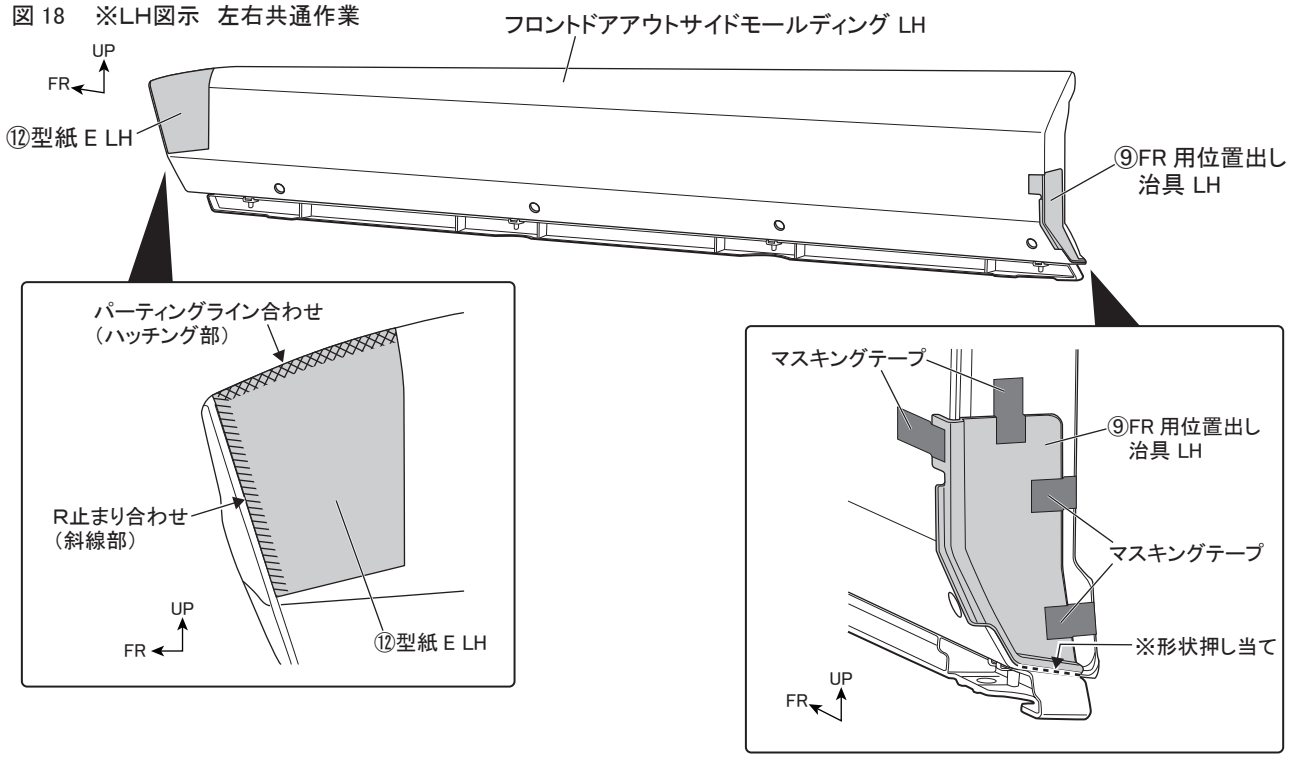
⚠注意 : 両面テープの離型紙を指示した順に剥がさなかった場合、 隙が発生するおそれがあります。

⚠注意 : 両面テープの圧着は、 49N(5kgf) 程度の力で行ってください。

22. 作業 20. で仮締めした⑥タッピングスクリューを本締めする。（左右各3箇所）

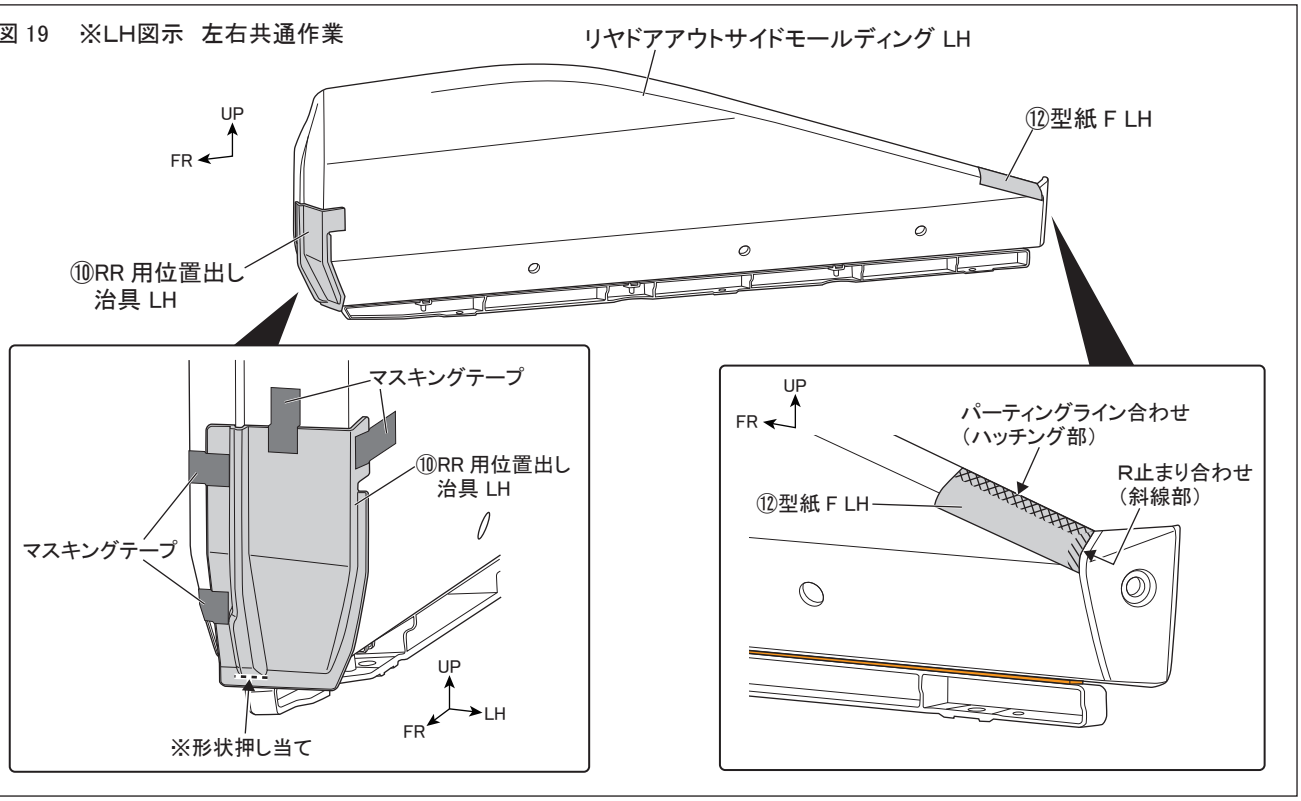
23. 図 18 のようにフロントドアアウトサイドモールディング後端部に⑨FR 用位置出し治具をマスキングテープ等で貼り付け（左右各1箇所）、 前端部に⑫型紙 E を貼り付ける。（左右各1箇所）

図 18 ※LH図示 左右共通作業



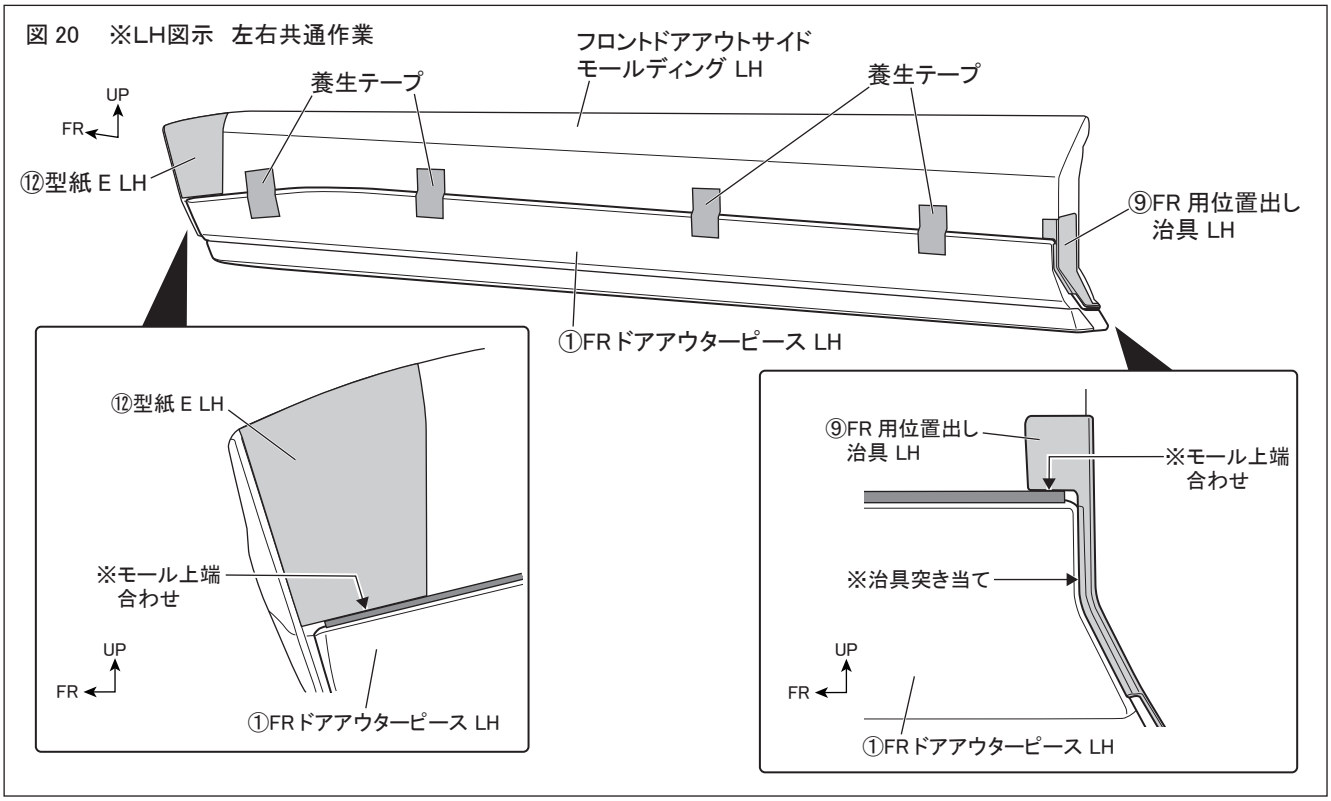
24. 図 19 のようにリヤドアアウトサイドモールディング前端部に⑩RR 用位置出し治具をマスキングテープ等で貼り付け（左右各1箇所）、後端部に⑫型紙 F を貼り付ける。（左右各1箇所）

図 19　※LH図示　左右共通作業



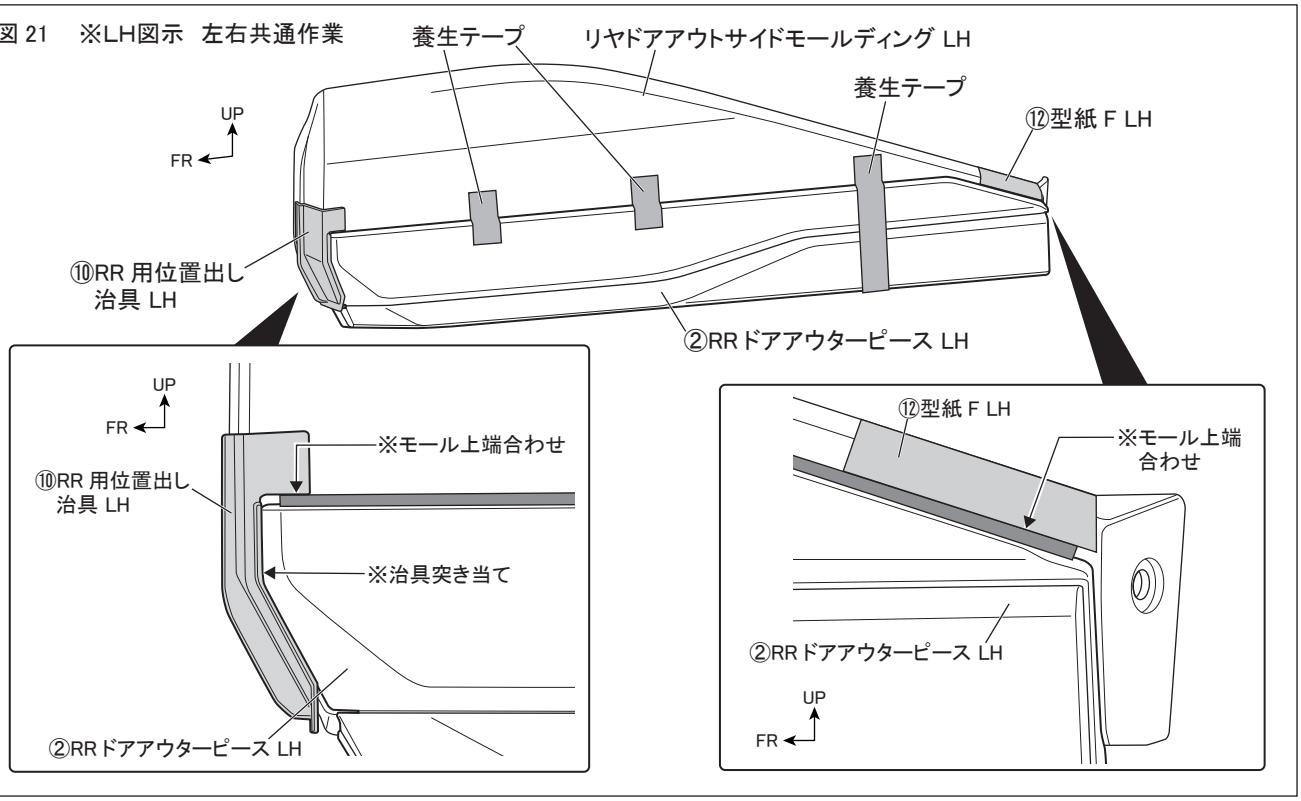
25. 図 20 のようにフロントドアアウトサイドモールディングの⑨FR 用位置出し治具、⑫型紙 E に合わせて①FR ドアアウターピースをあて、養生テープ等で仮固定する。

図 20　※LH図示　左右共通作業



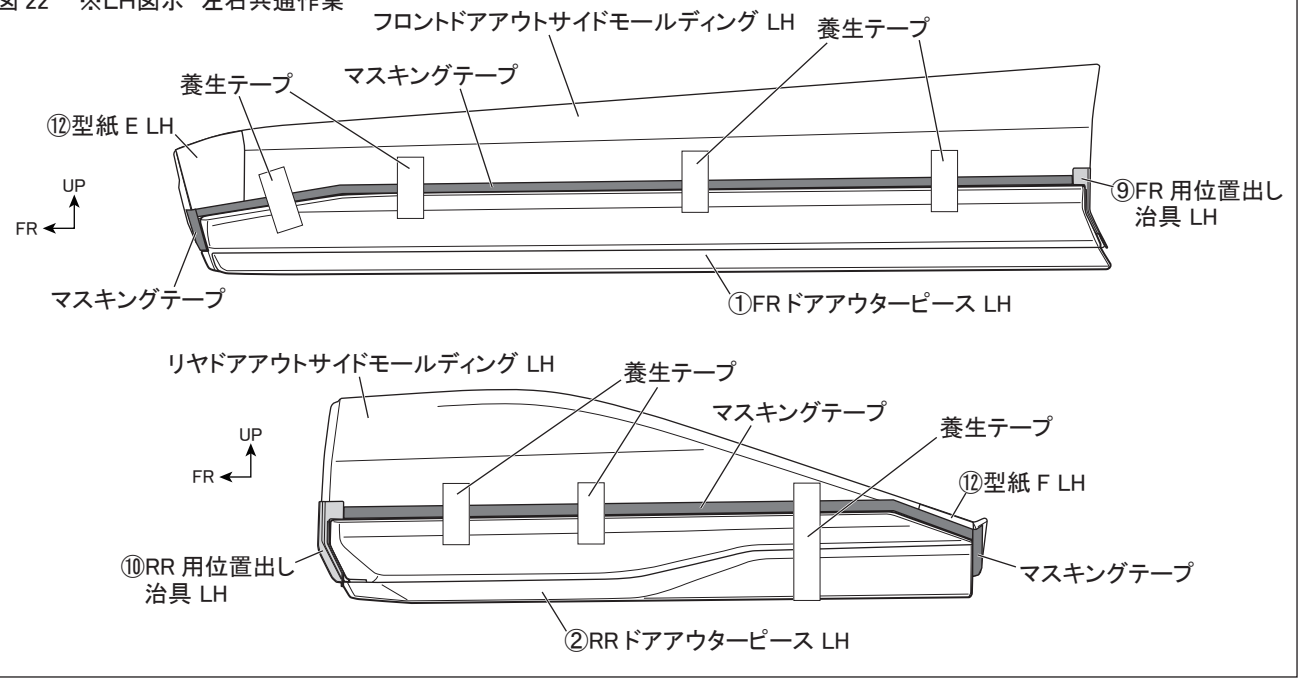
26. 図 21 のようにリヤドアアウトサイドモールディングの⑩RR 用位置出し治具、⑫型紙 F に合わせて②RR ドアアウターピースをあて、 養生テープ等で仮固定する。

図 21　※LH図示　左右共通作業



27. 図 22 のように①FR ドアアウターピース、②RR ドアアウターピースの周囲端末（モール貼り付け部はモール上端）に合わせてフロントドアアウトサイドモールディング、 リヤドアアウトサイドモールディングにマスキングテープを貼り付ける。

図 22　※LH図示　左右共通作業

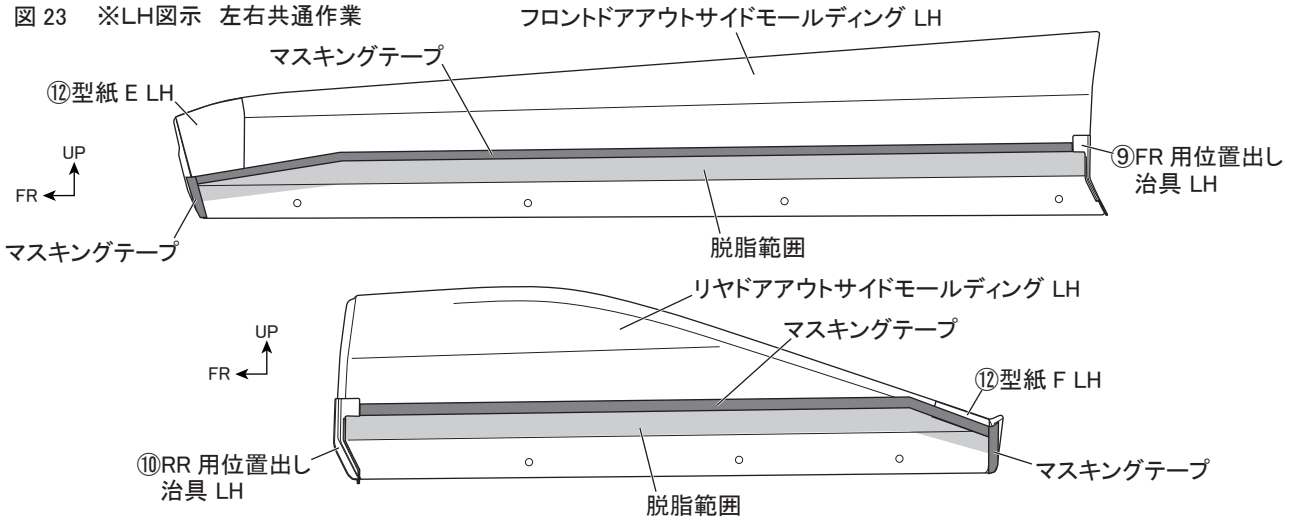


⚠注意 : プライマー塗布範囲のマスキングのため正確な位置出し、 マスキングを行ってください。

28. ①FR ドアアウターピース、②RR ドアアウターピースを取り外す。

29. 図 23 のようにフロントドアアウトサイドモールディング、 リヤドアアウトサイドモールディングの汚れを取り除き、 イソプロピルアルコールで一方向に拭いて脱脂する。

図 23　※LH図示　左右共通作業



⚠注意 : 脱脂を行う際、 上記以外の溶剤は使用しないでください。 油脂分が残り、 テープが剥がれる原因になります。

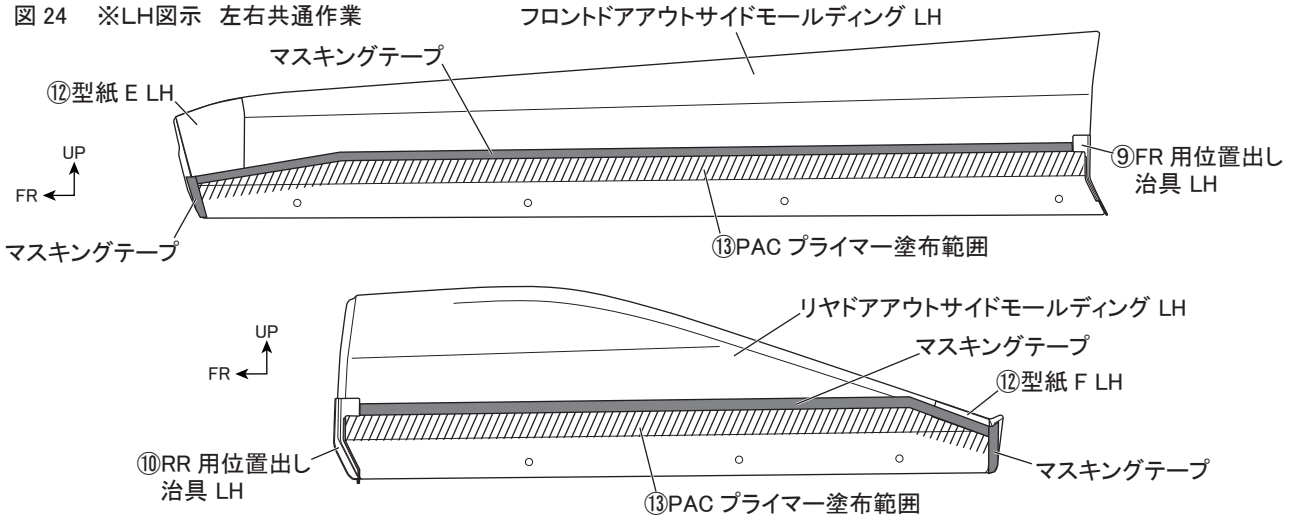
アドバイス : 脱脂作業を行う際は、 換気に注意して、 火気を近づけないよう注意してください。

⚠注意 : 脱脂後は、 十分に乾燥させてください。

アドバイス : ボディコート処理されている車両は塗布範囲内をマスキングし、 両面テープ接着部を塗装用コンパウンドなどで確実に除去し脱脂を行ってください。

30. 図 24 のように①FR ドアアウターピース、②RR ドアアウターピースの両面テープ貼り付け部に⑬PAC プライマーを塗布する。

図 24　※LH図示　左右共通作業



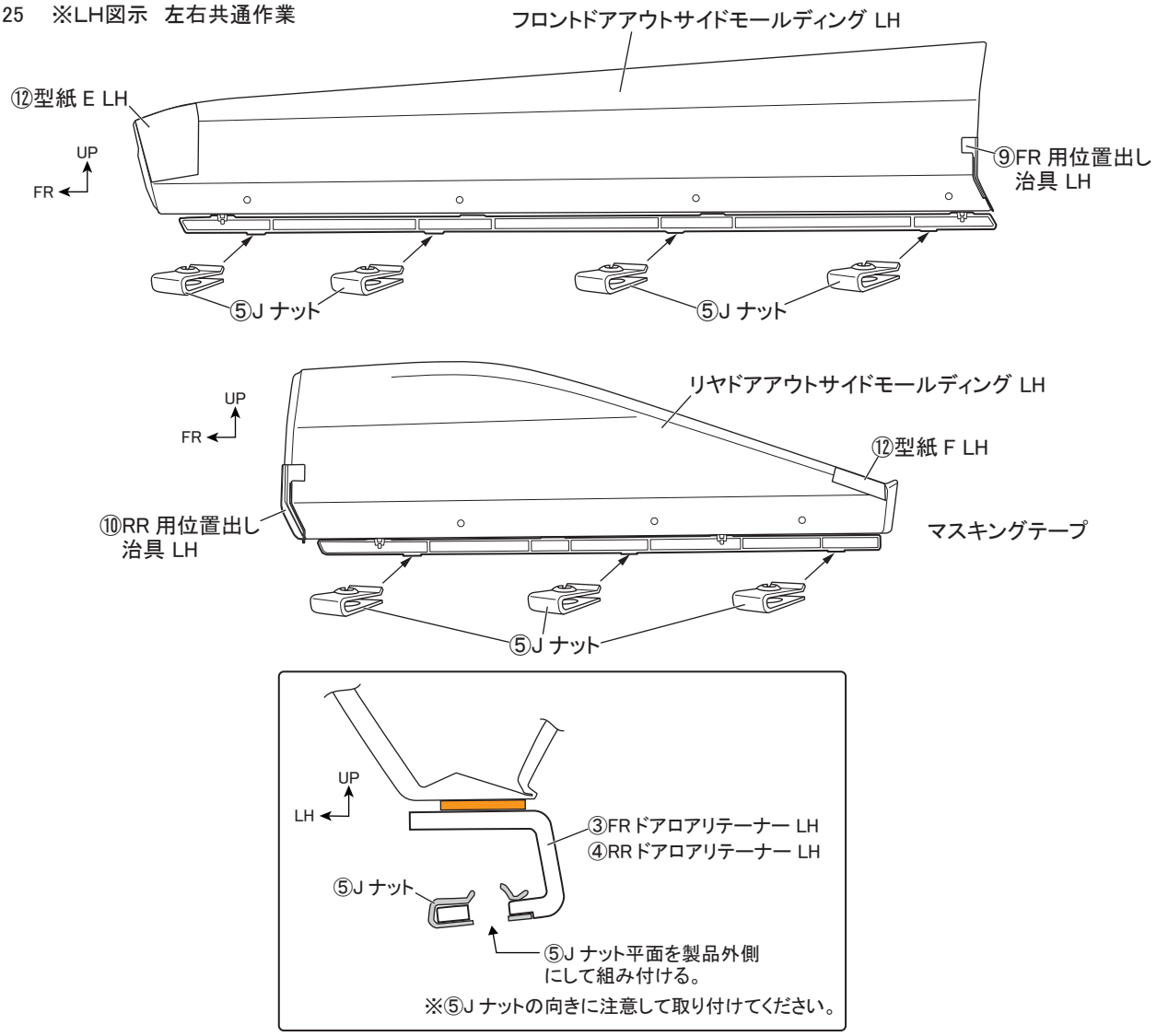
⚠注意

- プライマー開封前に必ず使用要領を読んでください。
- プライマーは塗装面を黄変させるため、 マスキングするか、 はみ出したプライマーはイソプロピルアルコール（IPA）で拭き取ってください。
- イソプロピルアルコール（IPA）を使用する際は火気に充分注意してください。
- プライマー塗布後 24 時間以内で乾燥時間をとってください。
- 塗布後 24 時間以上のプライマー乾燥を行なった場合は、 プライマーを塗りなおしてください。

31. フロントドアアウトサイドモールディング、リヤドアアウトサイドモールディングからマスキングテープを剥がす。
※⑨FR 用位置出し治具、⑩RR 用位置出し治具、⑫型紙 E、F は剥がさないでください。

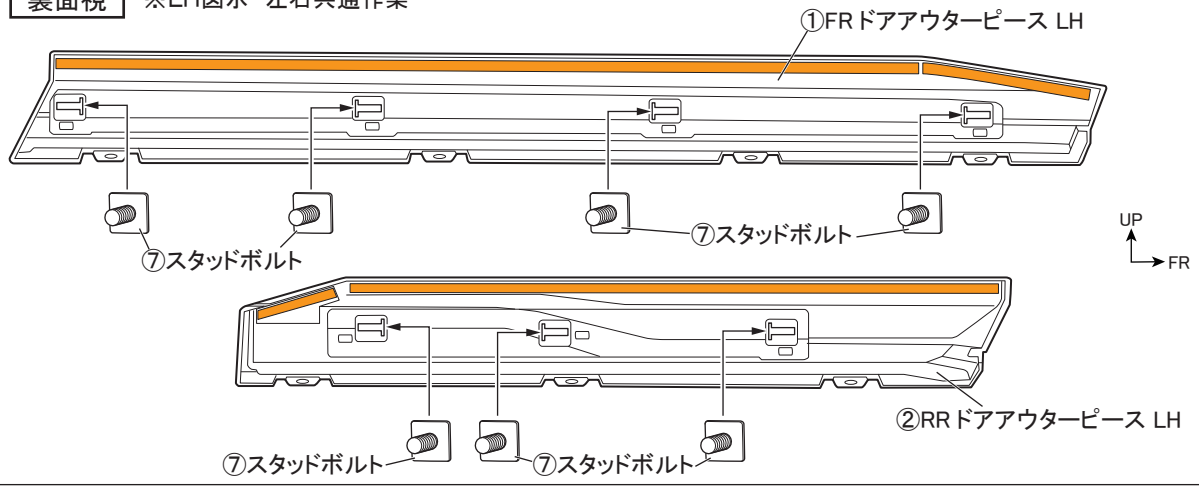
32. 図 25 のように③FR ドアロアリテーナー、④RR ドアロアリテーナーに⑤J ナットを組み付ける。
（FR：左右各4箇所、RR：左右各3箇所）

図 25　※LH図示　左右共通作業



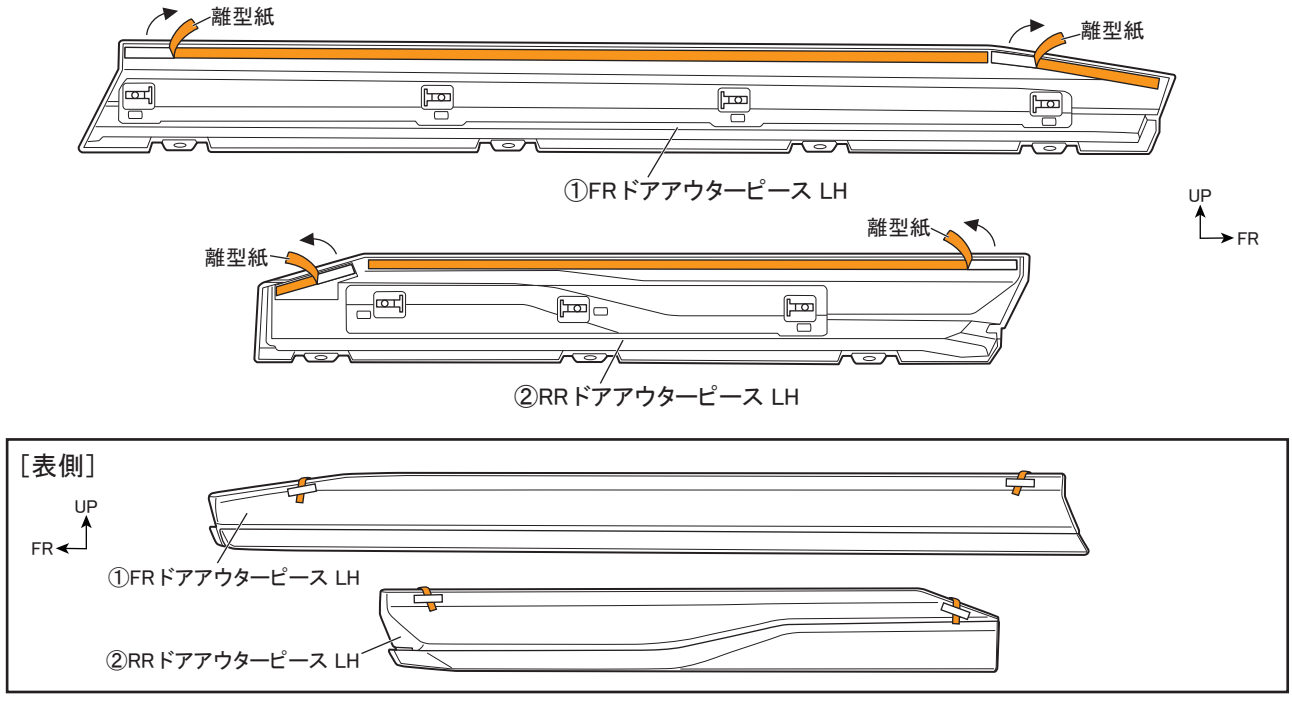
33. 図 26 のように③FR ドアロアリテーナー、④RR ドアロアリテーナーに⑦スタッドボルトを組み付ける。
（FR：左右各4箇所、RR：左右各3箇所）

図 26　裏面視　※LH図示　左右共通作業



31. 図 27 のように③FR ドアロアリテーナー、④RR ドアロアリテーナーの両面テープの離型紙を矢印の方向に約 30mm 剥がしてマスキングテープ等で表側に貼り付ける。（FR：左右各2箇所、 RR：左右各2箇所）

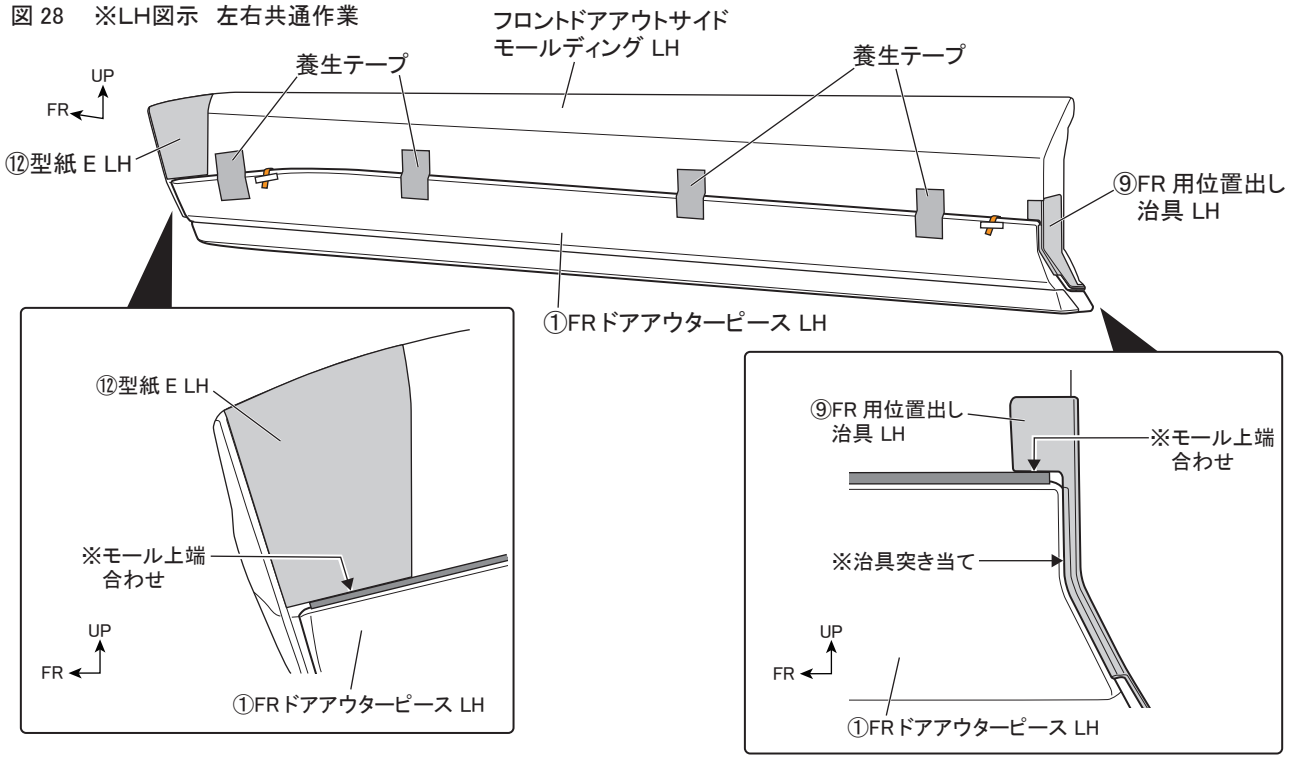
図 27 裏面視 ※LH図示 左右共通作業



□サイドスカート取り付け要領

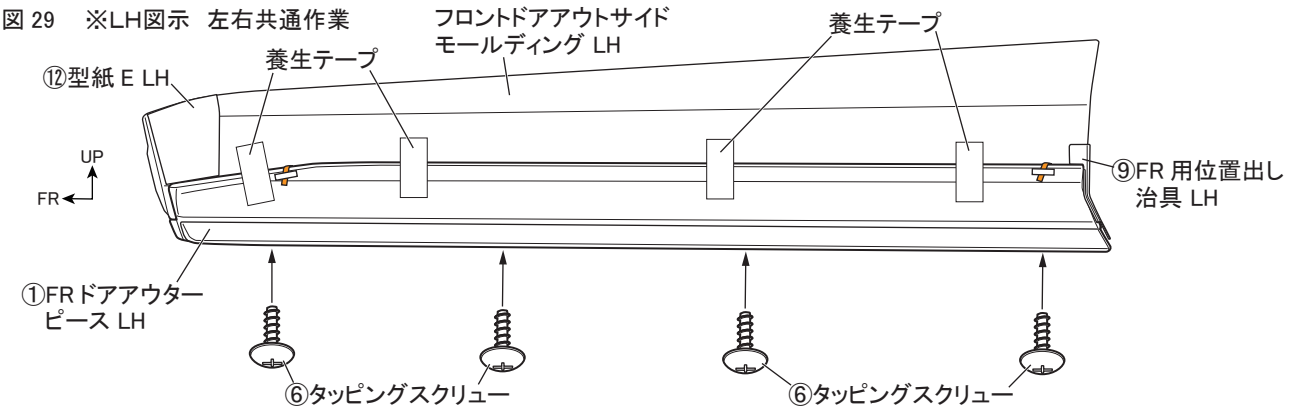
1. 図 28 のようにフロントドアアウトサイドモールディングの⑨FR 用位置出し治具、⑫型紙 E に合わせて①FR ドアアウターピースをあて、 養生テープ等で仮固定する。

図 28 ※LH図示 左右共通作業



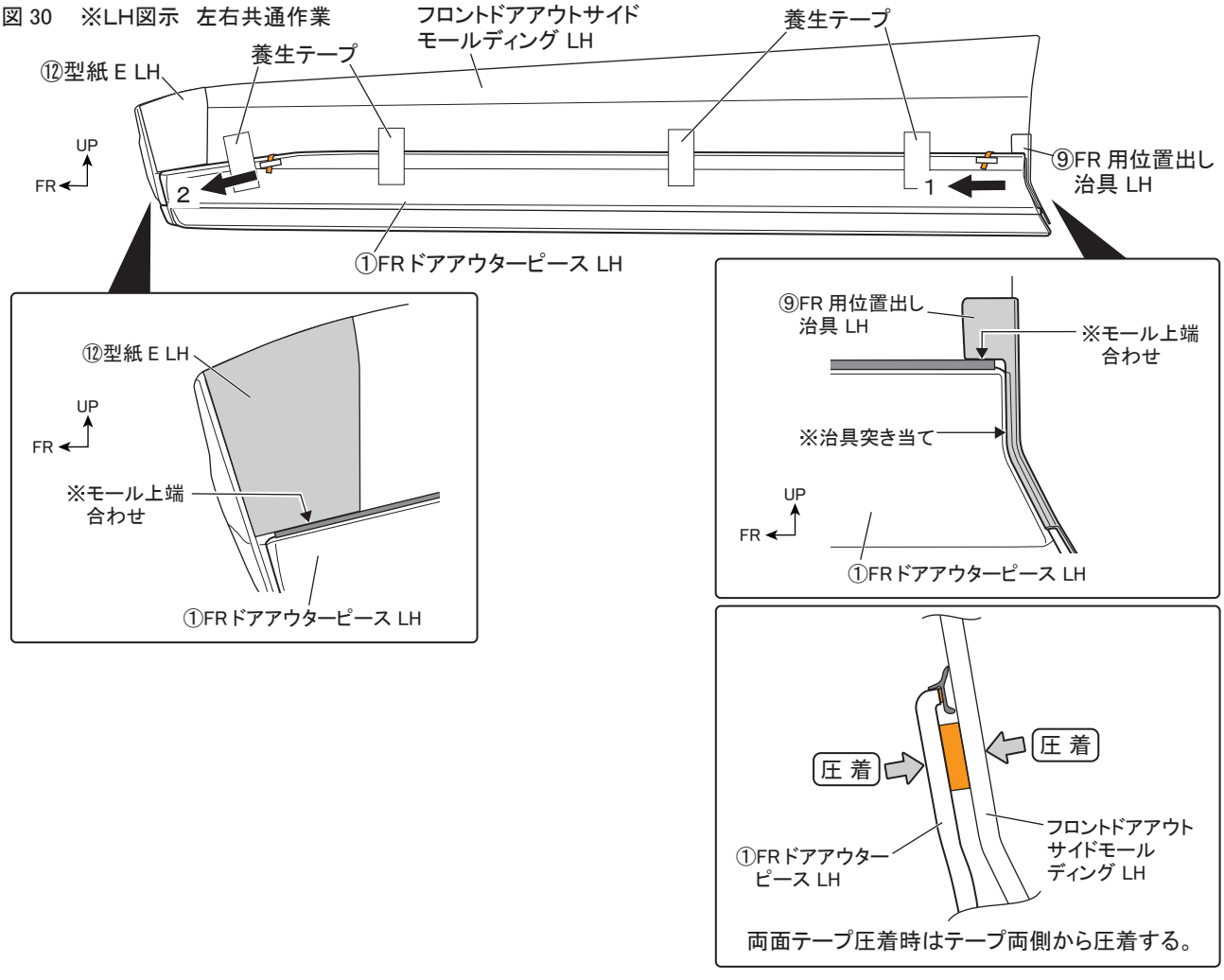
2. 図 29 のように①FR ドアアウターピース下面の穴位置に合わせて⑥タッピングスクリューで仮締めする。
（左右各4箇所）

図 29　※LH図示　左右共通作業



3. 図 30 のように①FR ドアアウターピースを⑨FR 用位置出し治具、⑫型紙 E に合わせ、 離型紙を矢印の方向に番号順に剥がしながら圧着する。（左右各2箇所）
※養生テープを剥がしながら両面テープを圧着すること。

図 30　※LH図示　左右共通作業



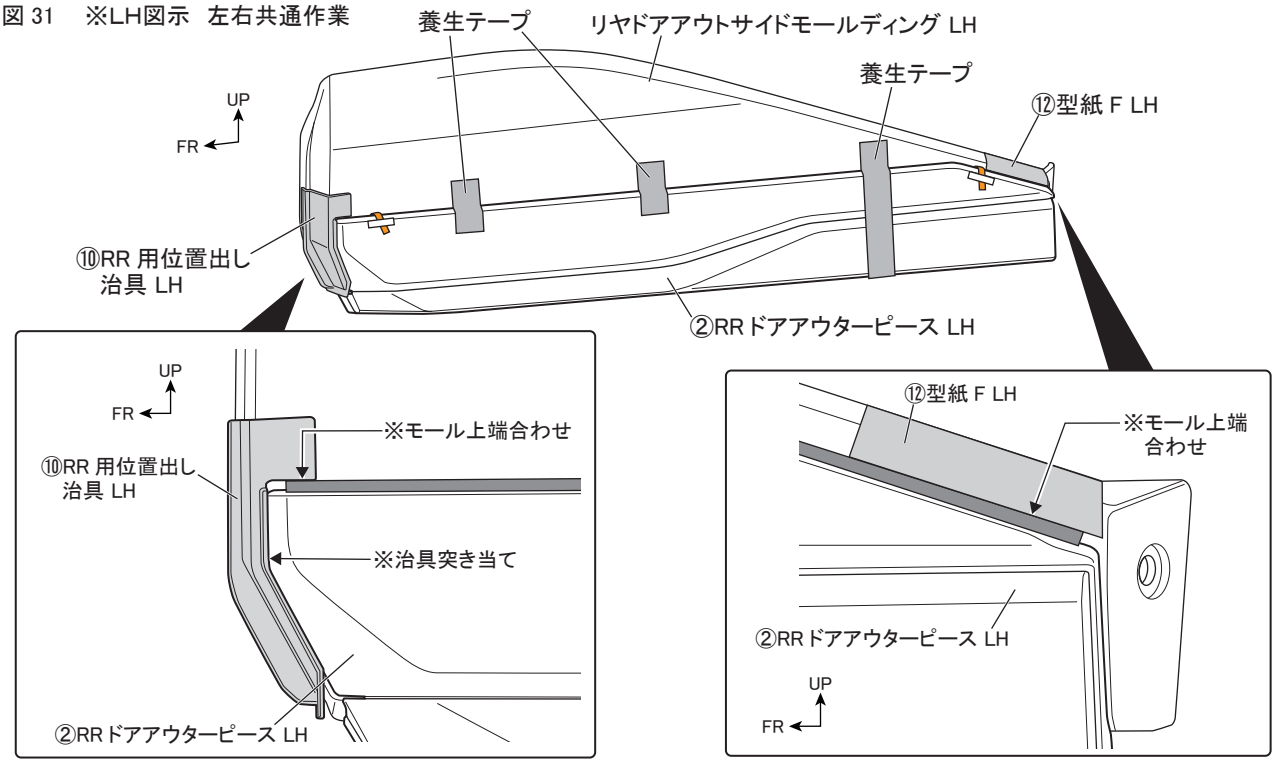
⚠注意 : 外気温が 15℃未満の場合は両面テープの接着力が著しく低下します。
部品または貼り付け面を人肌程度まで加温してください。

⚠注意 : 両面テープの離型紙を指示した順に剥がさなかった場合、 隙が発生するおそれがあります。

⚠注意 : 両面テープの圧着は、 49N(5kgf) 程度の力で行ってください。

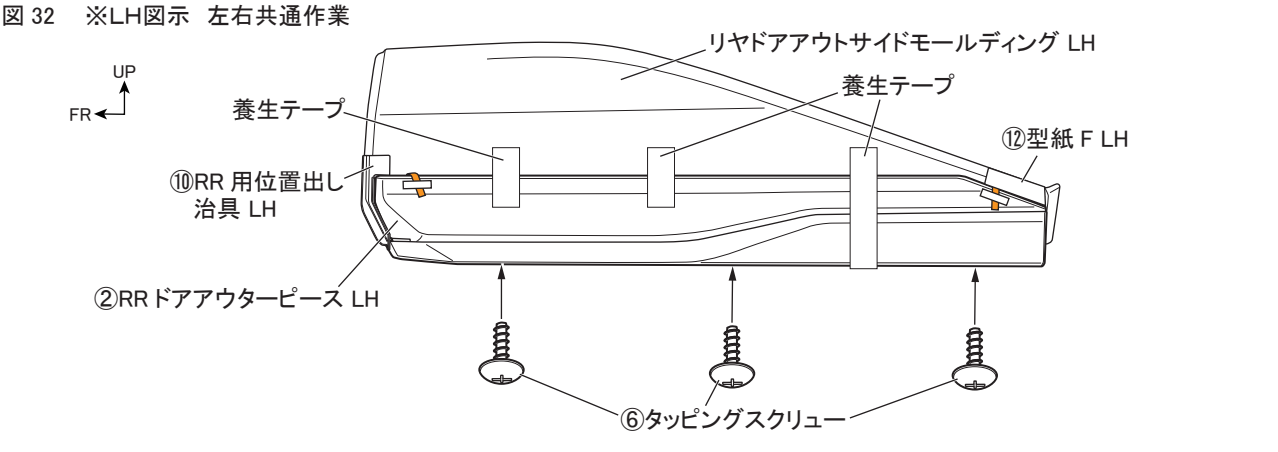
4. 図 31 のようにリヤドアアウトサイドモールディングの⑩RR 用位置出し治具、⑫型紙 F に合わせて②RR ドアアウターピースをあて、 養生テープ等で仮固定する。

図 31　※LH図示　左右共通作業



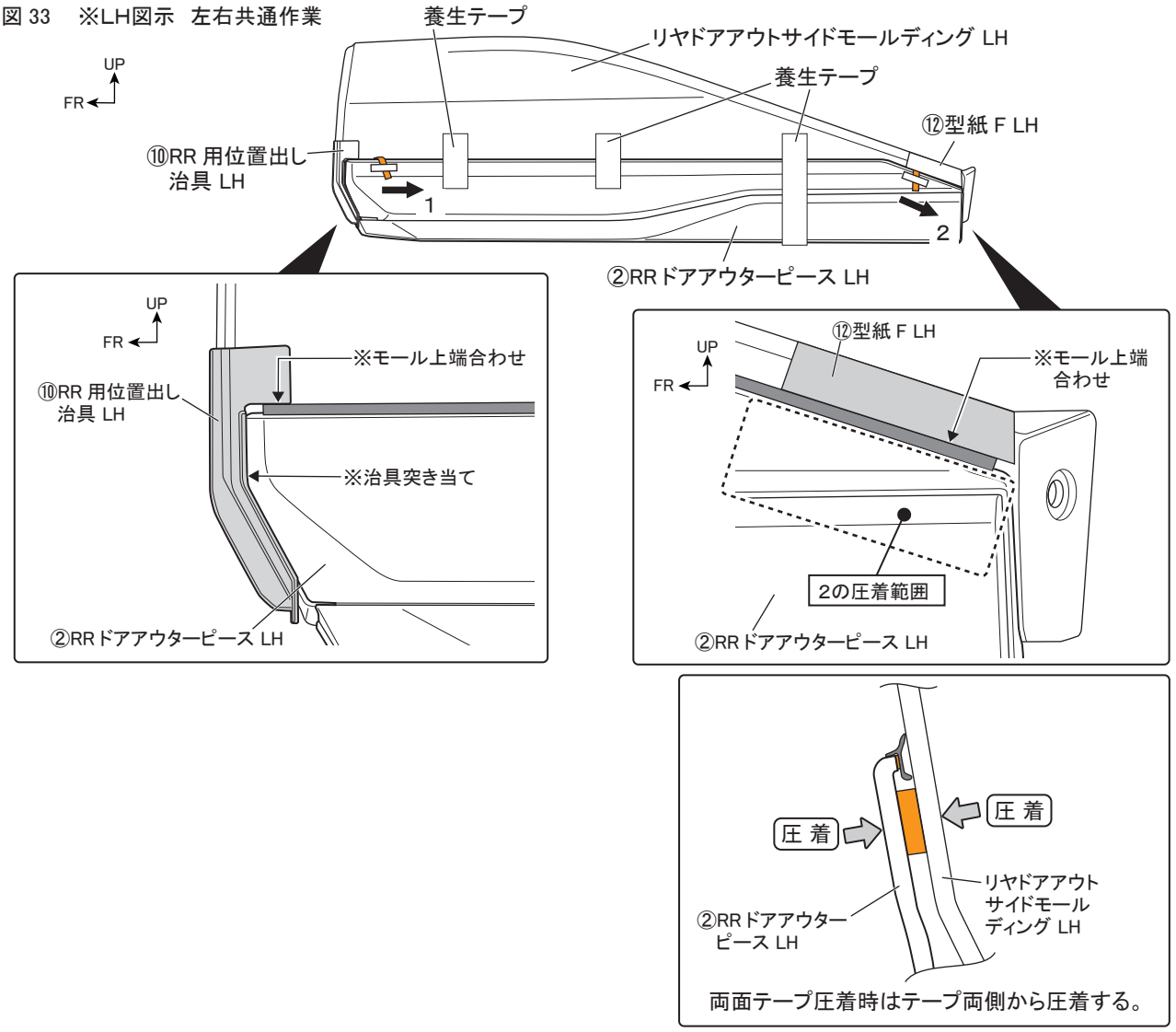
5. 図 32 のように②RR ドアアウターピース下面の穴位置に合わせて⑥タッピングスクリューで仮締めする。
（左右各3箇所）

図 32　※LH図示　左右共通作業



6. 図 33 のように②RR ドアアウターピースを⑩RR 用位置出し治具、⑫型紙 F に合わせ、 離型紙を矢印の方向に番号順に剥がしながら圧着する。（左右各2箇所）
※養生テープを剥がしながら両面テープを圧着すること。

図 33　※LH図示　左右共通作業



⚠注意 : 外気温が 15℃未満の場合は両面テープの接着力が著しく低下します。
部品または貼り付け面を人肌程度まで加温してください。

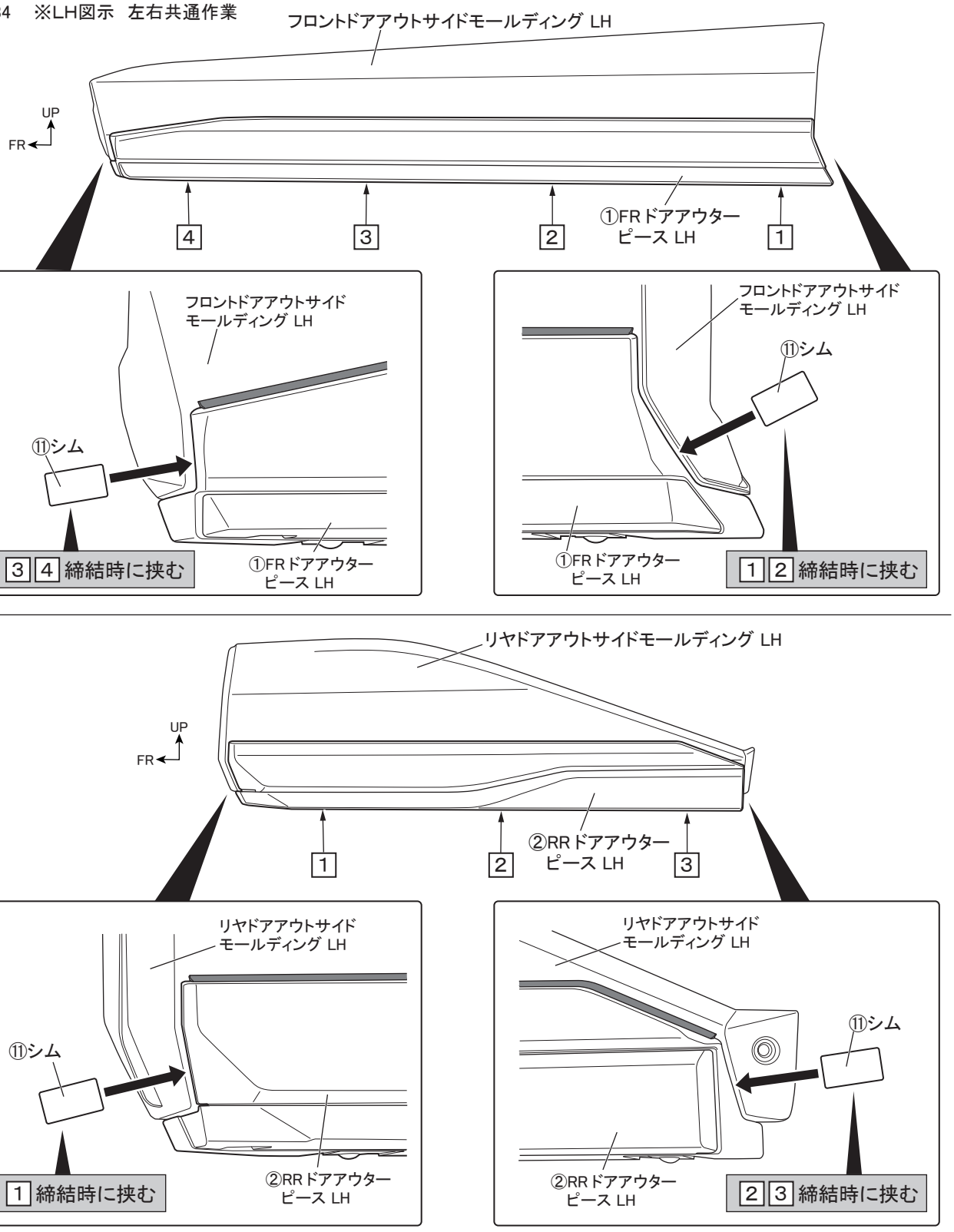
⚠注意 : 両面テープの離型紙を指示した順に剥がさなかった場合、 隙が発生するおそれがあります。

⚠注意 : 両面テープの圧着は、 49N(5kgf) 程度の力で行ってください。

7. フロントドアアウトサイドモールディング、リヤドアアウトサイドモールディングから⑨FR 用位置出し治具、⑩RR 用位置出し治具を取り外し、⑫型紙 E、F を剥がす。

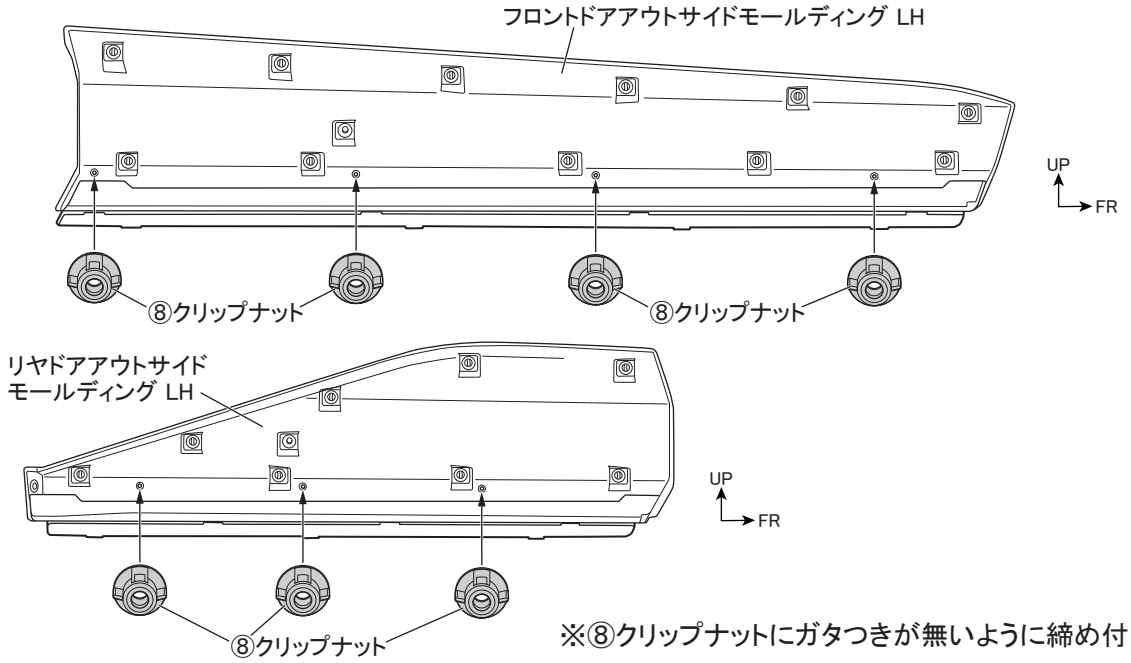
8. 図 34 のように①FR ドアアウターピースとフロントドアアウトサイドモールディング、②RR ドアアウターピースとリヤドアアウトサイドモールディングの間に⑪シムを挟み、一定隙になるよう取り付け位置を確認しながら下面を仮締めした⑥タッピングスクリューを番号順に本締めする。（FR：左右各4箇所、RR：左右各3箇所）

図 34　※LH図示　左右共通作業



9. 図 35 のようにフロントドアアウトサイドモールディング、リヤドアアウトサイドモールディングの内側から①FR ドアアウターピース、②RR ドアアウターピースのスタッドボルトに⑧クリップナットをしっかり締め付ける。
（FR：左右各4箇所、 RR：左右各3箇所）

図 35 裏面視 ※LH図示 左右共通作業



※⑧クリップナットにガタつきが無いように締め付ける。

10. ①FR ドアアウターピース、②RR ドアアウターピースの取り付け状態を確認し、 両面テープ貼り付け部を再圧着する。

11. 該当車両の修理書に従い、 車両にフロントドアアウトサイドモールディング、リヤドアアウトサイドモールディングを復元する。

アドバイス 両面テープの接着力は安定するまで3～5時間程度必要です。
製品の取付け後は、 最低3時間程度、 強い振動や風圧（車両の移動を含む）が、掛からないようにオープンタイム（静止時間）お取りください。

⚠ 警告 両面テープは十分に圧着してください。 圧着が不十分な場合、 浮き・剥がれ等の症状が発生し脱落などの重大な不具合が発生する可能性があります。
両面テープ接着後、 24 時間以内は雨・洗車等で接着部に水が掛からないようにしてください。
接着力が低下し、 剥がれ・脱落等が発生する可能性があります。

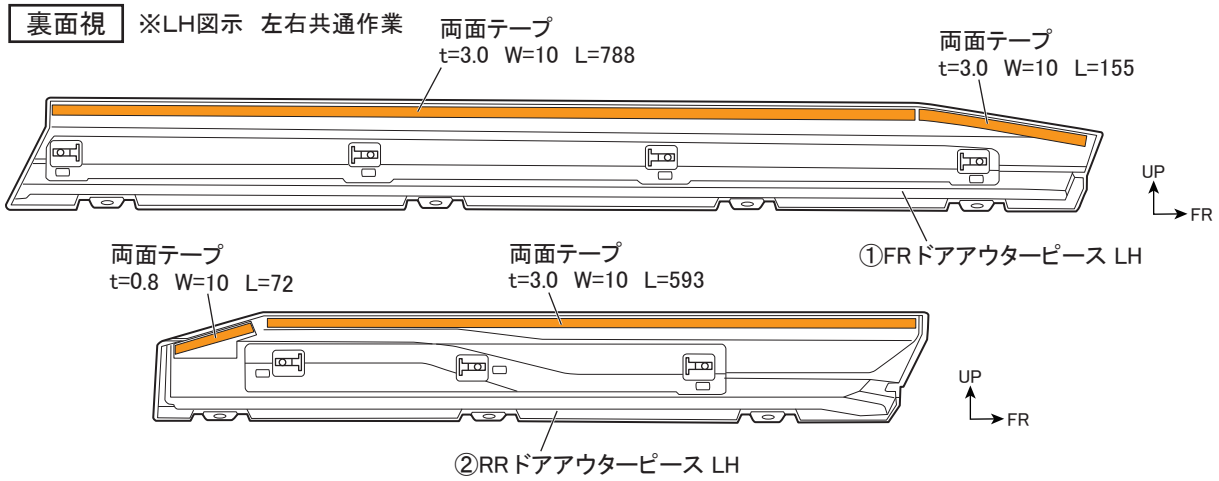
■ 取り付け完了後の点検・注意事項

1. 商品及び車両にキズが付いていないことを確認してください。
2. 商品全周に渡り、 浮き・剥がれ等、 無いことを確認してください。
3. 商品と車両との干渉が無いことを確認してください。
4. 作業でバッテリーのマイナス端子を外した場合は、 作業終了後にシステム設定・確認を行ってください。
5. 本取り付けに伴い分解・脱着した部位により、 再設定・調整が必要となる場合があります。
6. 接着力を促進するため、 取り付け後 20 分以内は洗車しないでください。

■ 補修キットについて

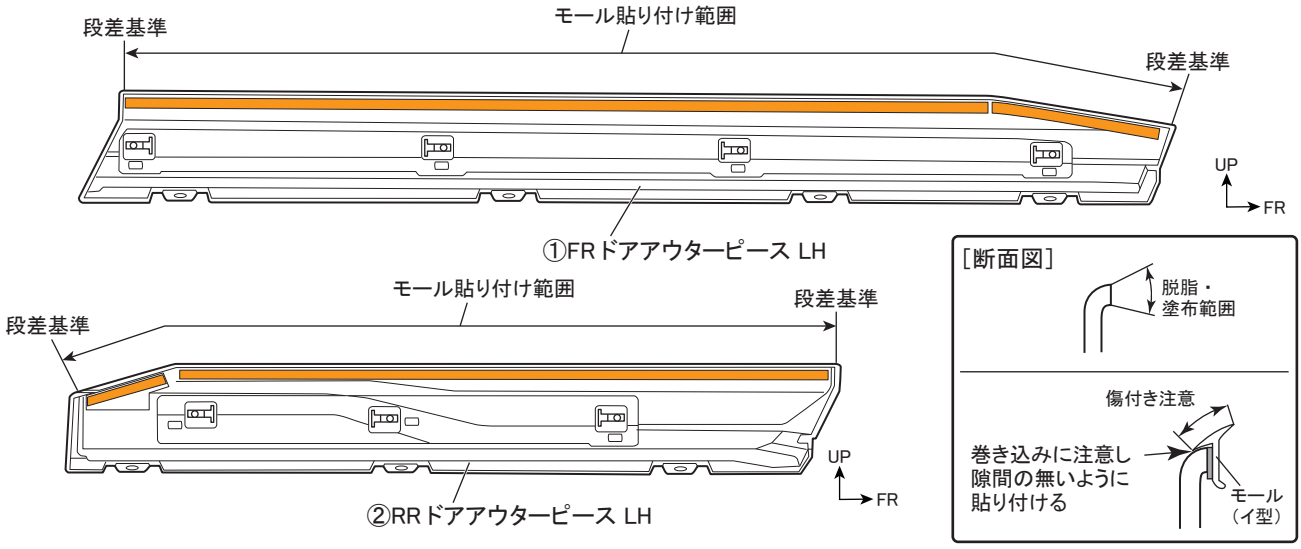
1. 補修キットを使用してサイドスカートの再取り付けを行なう際は、 図 36 を参考に両面テープを選択し貼り付ける。
※両面テープを貼り付ける際は、 貼り付け部を脱脂し、 プライマー（PAC プライマー K-500 相当）を塗布する。

図 35 裏面視 ※LH図示 左右共通作業



2. 補修キットを使用してサイドスカートの再取り付けを行なう際は、 図 37 を参考にモールを貼り付ける。
※両面テープを貼り付ける際は、 貼り付け部を脱脂し、 プライマー（PAC プライマー K-500 相当）を塗布する。

図 37 裏面視 ※LH図示 左右共通作業



株式会社トヨタカスタマイジング＆ディベロップメント
GR商品問い合わせ窓口
TEL:050-3161-2121
https://www.trdparts.jp/

脱脂作業要領書

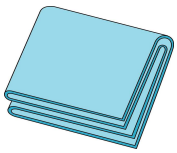
本書ではエアロパーツ等を取付ける際の脱脂作業について記載してあります。
取付け前に必ずお読みいただき、正しい要領で脱脂作業を行ってください。

エアロパーツの取付け・脱脂作業の要領を
解説動画でご覧いただけます。
右のＱＲコードよりアクセスのうえ
ご確認ください。

①エアロ取付準備・脱脂　　（約 3 分）
②エアロ位置決め・取付・圧着（約 6 分）
③デカール準備・水貼り・圧着（約 4 分）
合計　約 13 分

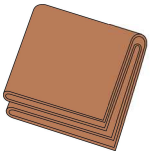
■　取付け時の脱脂作業に必要な工具等


水拭き用バケツ


合成セーム皮


脱脂剤用
スプレーボトル


ゴム手袋


DRY 用
ウエス


WET 用
ウエス


イソプロピルアルコール(IPA)
※純度 100%推奨

■　脱脂作業上の注意事項

1．ホコリ・チリ等のない換気の良い作業場で作業を行ってください
2．隣接する場所で、ワックスがけやポリッシュ作業等は行わないで下さい。
　※飛散した油脂やワックス等の成分が車両に付着してしまいます。
3．脱脂剤を取り扱いの際は、眼・皮膚に触れないように保護具を着用のこと。
4．脱脂剤を取り扱いの際は、作業場に火気・熱源のないことを確認すること。
5．脱脂剤を取り扱いの際は、蒸気を吸い込まないように作業場内の換気に注意のこと。

⚠注　意・・・・注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等のおそれがあることを記載しています。

アドバイス・・スピーディーに確実に作業していただく上で、知っておいていただきたいことを記載しています。

★脱脂作業概要《重要》

◎【脱脂作業】とは、取付け面の表面に付着した油脂分を取り除き、両面テープの性能を十分に発揮させるための重要な下地処理です。
下地処理が不十分だと、両面テープの性能が著しく低下して、浮き・ハガレ脱落などの不具合を起こす場合があります。
大変に重要な作業となりますので確実に行ってください。

◎ 脱脂剤は、取付け面に付着した油脂分を浮かび上がらせて、ウエスへの吸着を促す溶剤です。
脱脂剤で取付け面を拭いただけでは、十分な脱脂は行えません。
≪脱脂作業前に≫以降の作業要領を十分に理解したうえで作業を行ってください。

■　脱脂作業前に

- 取付け面のホコリ・チリ等の汚れを十分な流水で洗い流す。
  汚れのひどい場合は、洗浄剤を使用して汚れを落とし、洗浄剤を十分に洗い流すこと。
- 取付け面にコーティング等を施工されている場合は、除去剤・コンパウンド等を使用し除去してください。除去後、十分に水洗いを行ってください。
  ※コーティング剤が残っていると両面テープはハガレます。
- 水洗い後は、取付け面に付いた水滴を完全にふき取ってください。

■　脱脂作業要領

- 取付け面の洗浄を行い、固く絞った合成セーム革等を使用し拭き上げて水滴をしっかりと取り除く。

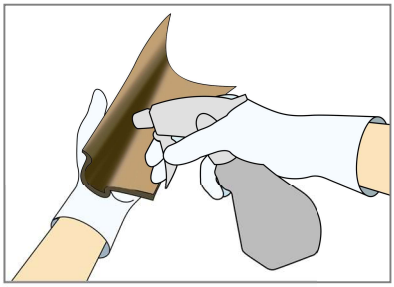

水拭き用バケツ


合成セーム皮

- スプレーボトルに入れた脱脂剤をWET用ウエスに吹きつける。


WET 用ウエス

※　ウエスは清潔なウエスを使用して、拭き上げ時にクズなどが出ない素材を選んでください。

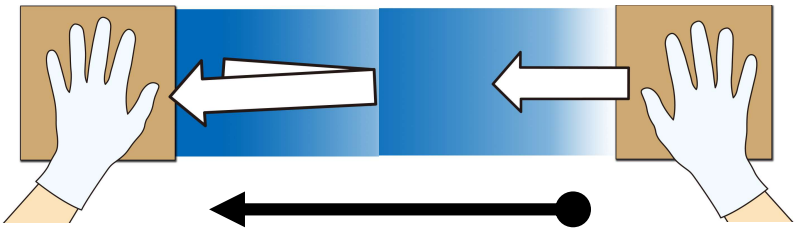


WET 用ウエスにスプレーボトルを５cm ほど離して、初回は１０回程度スプレーをして、ウエスが湿っている状態で取付け面を拭いてください。
以降は WET ウエス表面が乾く前に追加で５回程度スプレーし、常に湿った状態を保つようにしてください。

● 取付け面の脱脂作業を行う

①【WET 拭き】
脱脂剤を含ませたウエスで
１往復で拭き油脂分を浮き上がらせる

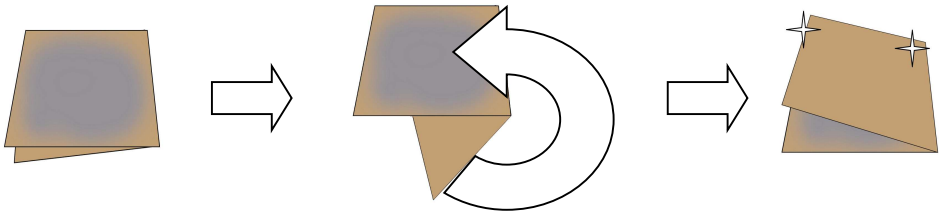
②【DRY 拭き】
DRY 拭きウエスで一方向に
拭き上げ油脂分を取り除く



１ブロック６０ｃｍ程度として両手に WET と DRY のウエスを交互に持ち
WET⇒DRY の順に拭き上げて脱脂する。
範囲が広い場合は１ブロック毎を数回に分けて行い、仕上げに面を通して拭き上げる

WET 拭きのあと脱脂剤が乾かないうちに DRY 拭きで一気に拭き上げを
行ってください。
（上図のように両手にウエスを持ち作業を行うと素早く作業できます。）

DRY 拭き作業後に拭き上げた面に、拭き跡が残っている場合は油脂分が
残っていますので、再度 WET・ DRY 拭きを行ってください。



WET／DRY のウエス共に３～５ブロック毎にウエス表面を折り返し
ウエスの拭き取り面が常に清潔な状態で作業を行ってください。

汚れたままのウエスを使い続けると、ウエスに拭き取った油脂分が取付け面に
再び付着して、エアロパーツの浮き・ハガレの原因となります。

脱脂作業がしっかり行われている取付け面は、DRY 拭きを行った際に
ウエスへの抵抗が増して、拭き上げが重くなります。
作業前と作業後のウエスの抵抗感を目安に、脱脂を行ってください。

脱脂後の取付け面には、指などを触れないように作業を行ってください。

脱脂後は長時間放置せず、すぐに作業を行ってください。

チリ・ホコリ等が付着しないように、十分注意してください。
パーツの取り付け方法は、各パーツの取扱説明書ならびに取付要領書に
したがって行ってください。